

## 《資料》

## 製造業で働く (2019年)

——製造業に対する社会科学系学部における大学生の意識調査から——

関 智 宏

- I はじめに
- II データ・方法
- III 結果
- IV おわりに

## I はじめに

本稿は、製造業に属する企業が、若年層の人材をいかに確保していくかについて解答を導き出すための基礎資料を提供することを目的としている。

日本では、生産年齢人口の減少にともない、企業にとって若年層の人材の確保は深刻な経営課題となっている。まして産業構造の高度化にともない、第三次産業が日本における産業構成比を高めるにつれて、若年層はますます製造業以外の業種を就労先として志向する状況となっている。日本において製造企業の人材確保は、極めて深刻な状況下にあると言える。

以下では、若年層の人材のなかでも、筆者が勤務する大学の社会科学系学部に所属する大学生に対して実施したアンケート調査の概要ならびに結果を紹介していく。筆者の私見では、製造企業が若年層の人材を確保していくためには、文系や理系といった文理系を問わず、さらに企業規模の大小を問わず、広く学生に対して製造企業の魅力を伝え続けていくなど新たな対応が必要である(関, 2019b)。とくに社会科学系学部の大学生にとっては、製造業との接点が極めて少なく、製造業を知る機会に乏しいために、製造業を正しく理解しているわけではない。それゆえ、社会科学系学部所属の大学生が、就労先として製造業をどのようにみているのかを明らかにしていくことは、製造企業が日本で若年層の人材を確保していくために、有益な情報であると考えられる。

## II データ・方法

## II-1. 設問

2019年5月に、筆者が専任あるいは兼任として担当したAとBの2つの大学における講義の履修者を対象に、製造業のイメージ、製造業ならびに中小企業への就労意識について尋ねた。

具体的には、問1.「製造業」と聞いて思いつくイメージを簡条書きで記入しなさい。問2. あ

あなたは製造業で働きたいと思いますか。問3. 「問2」のように答えたのはなぜですか。問4. あなたは将来的に大企業よりも中小企業で働きたいと思いますか。問5. 「問4」のように答えたのはなぜですか。の5問とした。問2と問4については、「そう思う」から「そう思わない」までの5点尺度で尋ねた（「そう思う」1点, 「どちらかと言えばそう思う」2点, 「わからない」3点, 「どちらかと言えばそう思わない」4点, 「そう思わない」5点）。問1は箇条書きで回答するように求め、また問3と問5は自由記述とした。

調査実施日は、A大学が2019年5月7日、B大学が2019年5月13日、有効回答は、A大学が427、B大学が272の合計で699であった。大学生が回答するにあたって、それぞれの大学の学習支援システムを活用した。大学別、また回答者の性別（男性には1を、女性には2を与えた）、学年（たとえば3の場合は3年生）も記載するようにした。

## II-2. 基本データ

性別では、男性が398（56.9%）、女性が261（37.3%）であった。なお調査を実施した2つの大学のうち、一方の大学での回答結果において、性別については氏名で判別するしかなく、性別が明らかではない回答については、「不明」としたが、これが40（5.7%）であった。

表1 性別度数表

	度数	パーセント	有効パーセント
男	398	56.9	56.9
女	261	37.3	37.3
不明	40	5.7	5.7
合計	699	100.0	100.0

学年別では、3年生がもっとも多く402（57.5%）、次点で2年生が183（26.2%）、そして4年生が94（13.4%）、5年生以上が20（2.8%）であった。

表2 学年別度数表

	度数	パーセント	有効パーセント
2年生	183	26.2	26.2
3年生	402	57.5	57.5
4年生	94	13.4	13.4
5年生	16	2.3	2.3
6年生	3	0.4	0.4
7年生	1	0.1	0.1
合計	699	100.0	100.0

日本では、大学生が就労先を探していく、いわゆる「就職活動」というプロセスが大学生の職業選択の方法として慣行となっている。ここでいう「就職活動」とは、一般的に、需要元である企業と供給先である学生とをマッチングさせる企業が運営するサイトをつうじて行われる、「エントリー」からはじまる説明会から面接、そして内定にいたる選抜・選考プロセスのことをいう

（関，2019b）。一般社団法人日本経済団体連合会は、「採用に関する指針」として、日本国内の企業による採用活動のプロセスについて、説明会は3月、面接など選考は6月、内定は10月にそれぞれ「解禁」する一定の方向性を示している（この指針は2018年10月に廃止することが発表された）。

このたびの調査を実施したのは、2019年5月であるから、4年生においては、ほぼ「就職活動」が終盤の段階を迎えているといえる。これから就労先を探そうとする大学生の意識を明らかにしていくという本稿での目的にしたがえば、3年生が回答割合の過半数を占めていることは、本稿で得られる情報が一定の有益をもたらすことを意味する。なお、性別と学年別とをクロスさせると、3年生の男女比はほぼ半々であった。

表3 性別・学年別クロス表

	男	女	不明	合計
2年生	142	30	11	183
3年生	178	203	21	402
4年生	64	23	7	94
5年生	10	5	1	16
6年生	3	0	0	3
7年生	1	0	0	1
合計	398	261	40	699

### II-3. 分析方法

箇条書きならびに自由記述の回答データを分析するにあたって、分析ツールとして KH Coder を使って分析を行った。KH Coder は、分割されうる語を1つ1つ抽出するために、明らかにそれらの複数の用語が関連づけられ、1つの複合語である場合でも抽出語一覧に反映されない場合がある。そこで複合語を事前に抽出し、出現数が一定数の項目を強制抽出する語として指定した。

以上の抽出されたデータを基本として、共起ネットワークを行った。語の最小出現数を設定した。強い共起関係ほど太い線で、また出現数の多い語ほど大きい縁で描画するようにし、描画数を60にしたうえで結果を図示するようにした。

## III 結 果

### III-1. 製造業のイメージ

まず製造業のイメージについてである。複合語として抽出され、かつ出現数が10以上の用語は、「ものづくり」、「単純作業」、「大量生産」、「中小企業」、「製造業」、「肉体労働」、「大企業」、「流れ作業」、「機械化」、「低賃金」、「町工場」、「ベルトコンベア」、「工場勤務」、「第二次産業」、「作業着」、「技術職」、「従業員」、「福利厚生」、「人間関係」、「物作り」、「モノづくり」、「ライン作業」、「外国人労働者」、「人手不足」、「勤務時間」であった。これらを強制抽出する語として指

定し、このうえでデータの事前処理をしたところ、総抽出語数(括弧内は使用された語数)は13,133(6,332)であり、異なり語数(同)は1,353(1,142)であった。また集計単位は、「文」が1,572、「段落」が732であった。

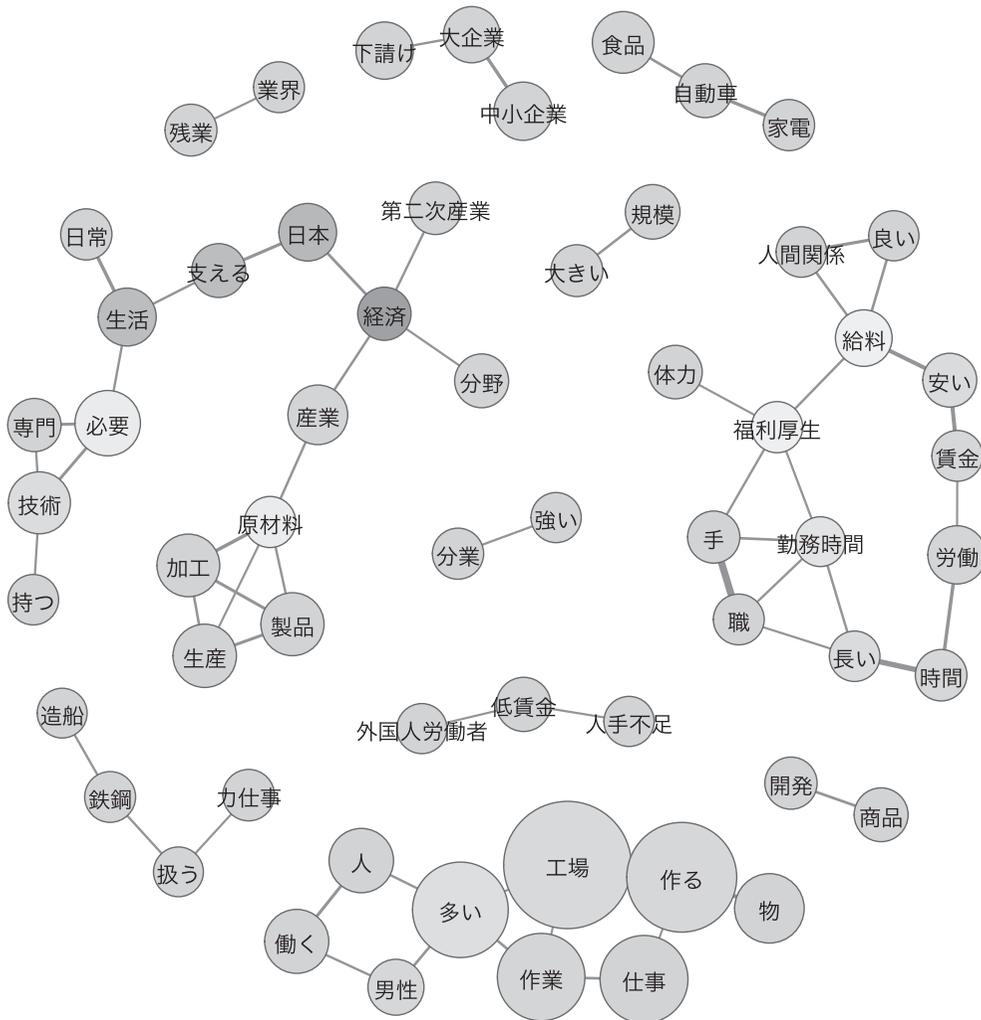
頻出度数が多いものから150語をまとめたものが表4である。「工場」が239、「作る」が187、「多い」が145、「仕事」が122、「作業」が121、「機械」が104と続いた。

表4 抽出語一覧(製造業のイメージ)

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
工場	239	会社	27	日常	14	工程	9
作る	187	少ない	25	幅広い	14	自分	9
多い	145	規模	24	福利厚生	14	社員	9
仕事	122	機械化	23	分業	14	社会	9
作業	121	低賃金	23	ブラック	13	種類	9
機械	104	安い	22	業界	13	職場	9
物	68	現場	22	職	13	進む	9
部品	66	使う	22	中国	13	他	9
製造	58	支える	22	賃金	13	電子	9
必要	56	自動車	22	鉄鋼	13	トヨタ	8
人	53	商品	22	物作り	13	衣料	8
働く	52	町工場	22	下町	12	業務	8
生産	50	分野	22	持つ	12	金属	8
イメージ	49	体力	21	人間関係	12	主	8
製品	49	経済	20	長い	12	手作業	8
加工	48	専門	20	理系	12	船	8
企業	46	ベルトコンベア	19	ブルーカラー	11	多く	8
技術	46	工場勤務	19	モノづくり	11	知識	8
ものづくり	45	行う	19	ライン作業	11	着る	8
食品	45	高い	19	ロボット	11	ノルマ	7
メーカー	42	従業員	19	外国人労働者	11	ロケット	7
単純作業	42	重労働	19	管理	11	過酷	7
産業	39	職人	18	強い	11	活躍	7
車	39	第二次産業	18	業種	11	環境	7
大量生産	39	開発	17	繰り返し	11	企画	7
製造業	36	手	17	人手不足	11	危険	7
中小企業	35	技術職	16	良い	11	機器	7
労働	35	作業着	16	ライン	10	休み	7
生活	34	残業	16	扱う	10	欠く	7
日本	33	大きい	16	勤務時間	10	梱包	7
下請け	32	大変	16	効率	10	女性	7
モノ	31	工業	15	細かい	10	場所	7
給料	30	時間	15	造船	10	人間	7
肉体労働	30	力仕事	15	売る	10	組立	7
大企業	29	たくさん	14	販売	10	造る	7
さまざま	28	家電	14	お菓子	9	多種	7
男性	28	繰り返し	14	ワーク	9		
流れ作業	28	原材料	14	海外	9		

共起ネットワーク分析を行った結果を図示したものが、図1である。出現数が10以上の項目を強制抽出する語として指定した。「経済」、「日本」、「支える」、「生活」、「産業」などを中心とした共起関係がみられた。具体的には、「日本経済／産業を支える」を中心に、「原材料と製品を生産・加工する」、あるいは「日本における生活を支える」を中心に、「専門の技術を持つ／必要とする」といったキーワードが抽出された。また、それら以外として、「工場での作業／仕事」、「男性が多く働く」、「人手不足から低賃金で外国人労働者が働く」、「大企業と中小企業の下請け」、「勤務時間が長い」、「給料が安い」、「力仕事を扱う（なかでも造船や鉄鋼）」、「食品／自動車／家電」などといったキーワードが抽出された。

図1 共起ネットワーク（製造業のイメージ）



### III-2. 製造業で働く意識

次に製造業で働く意識についてである。「あなたは製造業で働きたいと思いますか」という問に対して、「そう思う」から「そう思わない」までの5点尺度で尋ねた（「そう思う」1点、「ど

「どちらかと言えばそう思う」2点, 「わからない」3点, 「どちらかと言えばそう思わない」4点, 「そう思わない」5点)。調査の結果, 「どちらかと言えばそう思わない」がもっとも多く259 (37.1%), 次点で「そう思わない」が159 (22.7%)であった。「そう思う」の35 (5.0%)と「どちらかと言えばそう思う」の92 (13.2%)を足し合わせても, 127 (18.2%)にとどまった。性別でも, ほぼ同じような傾向がみられた。

表5 製造業で働く意識 度数表

	度数	パーセント	有効パーセント
そう思う	35	5.0	5.0
どちらかと言えばそう思う	92	13.2	13.2
わからない	152	21.7	21.8
どちらかと言えばそう思わない	259	37.1	37.2
そう思わない	159	22.7	22.8
合計	697	99.7	100.0

表6 製造業で働く意識と性別クロス表

	男		女		不明	合計
	度数	パーセント	度数	パーセント		
そう思う	24	6.0	9	3.5	2	35
どちらかと言えばそう思う	53	13.3	32	12.4	7	92
わからない	91	22.9	51	19.7	10	152
どちらかと言えばそう思わない	122	30.7	122	47.1	15	259
そう思わない	108	27.1	45	17.4	6	159
合計	398	100.0	259	100.0	40	697

「あなたは製造業で働きたいと思いますか」という問に対する回答として, 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」とを足し合わせたグループを, 「製造業で働きたいと思うグループ」, また「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」とを足し合わせたグループを, 「製造業で働きたいと思わないグループ」とし, 両者のグループ間の違いをみていく。

まず「製造業で働きたいと思うグループ」についてである。製造業のイメージと同じように, 分析ツールとして KH Coder を使って分析を行った。複合語として抽出され, かつ出現数が5以上の用語は, 「製造業」と「ものづくり」, 「私たち」であった。これを強制抽出する語として指定し, このうえでデータの事前処理をしたところ, 総抽出語数 (括弧内は使用された語数) は3,740 (1,497)であり, 異なり語数 (同) は659 (517)であった。また集計単位は, 「文」が176, 「段落」が128であった。

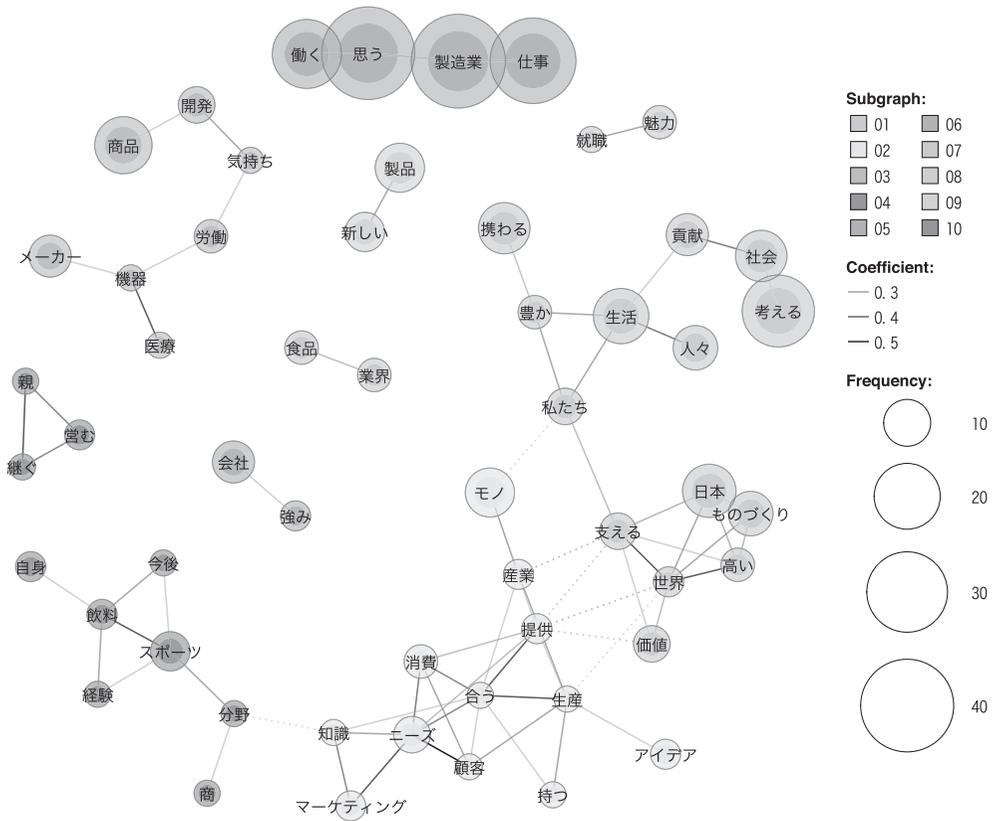
頻出度数が多いものから150語をまとめたものが表7である。「製造業」が41, 「思う」が40, 「仕事」が34, 「自分」が32, 「作る」が30, 「考える」が24と続いた。

表7 抽出語一覧（製造業で働きたいと思うグループ）

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
製造業	41	作業	6	継ぐ	3	苦手	2
思う	40	支える	6	見る	3	繰り返す	2
仕事	34	私たち	6	誇る	3	経営	2
作る	30	業界	5	顧客	3	経済	2
自分	28	工場	5	合う	3	研究	2
考える	24	高い	5	今後	3	見える	2
働く	22	消費者	5	使う	3	現在	2
感じる	18	食品	5	持つ	3	向く	2
興味	17	多い	5	実感	3	広い	2
製造	16	豊か	5	就職	3	合わせる	2
商品	15	魅力	5	商	3	根本	2
生活	14	労働	5	親	3	時代	2
日本	13	アイデア	4	生産	3	次第	2
携わる	12	マーケティング	4	知識	3	自社	2
好き	12	飲料	4	難しい	3	実際	2
社会	12	営む	4	父	3	手	2
モノ	11	強み	4	分野	3	需要	2
製品	11	業種	4	役	3	充実	2
人	10	形	4	いろいろ	2	重要	2
ものづくり	9	行う	4	すき	2	出る	2
人々	9	今	4	たくさん	2	小さい	2
メーカー	8	産業	4	サービス	2	少し	2
会社	8	思い	4	スる	2	情報	2
企画	8	自身	4	トヨタ	2	職	2
貢献	8	自分たち	4	マイナス	2	職種	2
世の中	8	車	4	可能	2	深い	2
イメージ	7	就く	4	夏場	2	身近	2
スポーツ	7	世	4	家	2	成長	2
楽しい	7	世界	4	家業	2	生かす	2
関わる	7	提供	4	改善	2	生きる	2
企業	7	販売	4	海外	2	生み出す	2
新しい	7	良い	4	学ぶ	2	生み出せる	2
必要	7	医療	3	活躍	2	専門	2
物	7	営業	3	関係	2	全て	2
ニーズ	6	過程	3	機械	2	創造	2
安定	6	機器	3	気	2	想像	2
価値	6	気持ち	3	技術	2		
開発	6	経験	3	強い	2		

共起ネットワーク分析を行った結果を図示したものが、図2である。出現数が3以上の項目を強制抽出する語として指定した。その結果、「消費者に提供する」、「生活を豊かにする」、「社会に貢献する」、「商品を開発する」、「日本を支える」などといったキーワードが抽出された。

図2 共起ネットワーク (製造業で働きたいと思うグループ)



次に「製造業で働きたいと思わないグループ」についてである。同じように KH Coder を使って分析を行った。複合語として抽出され、かつ出現数が5以上の用語は、「製造業」、「さそう」、「単純作業」、「大変そう」、「肉体労働」、「低賃金」、「体力的」、「サービス業」、「福利厚生」、「工場勤務」、「流れ作業」、「労働時間」、「仕事内容」、「消費者」、「精神的」、「労働環境」であった。これを強制抽出する語として指定し、このうえでデータの事前処理をしたところ、総抽出語数(括弧内は使用された語数)は11,972(4,864)であり、異なり語数(同)は1,220(976)であった。また集計単位は、「文」が625、「段落」が417であった。

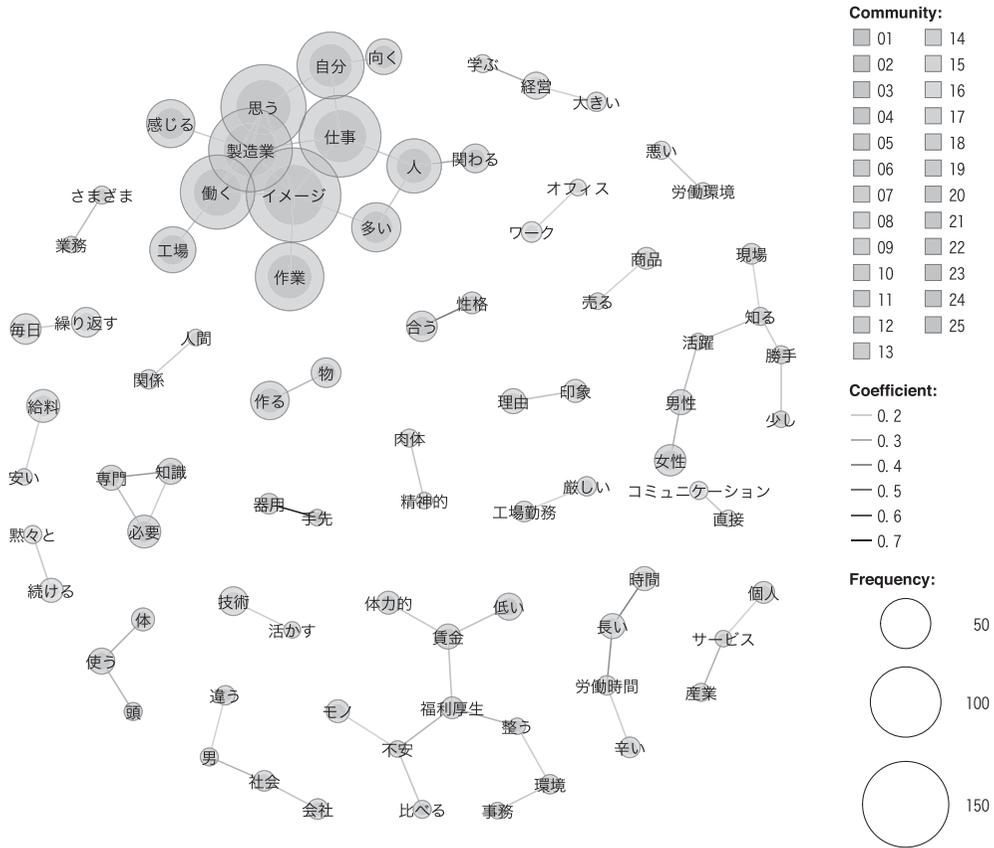
頻出度数が多いものから150語をまとめたものが表8である。「イメージ」が180、「思う」が146、「製造業」が141、「仕事」が135、「働く」が111、「作業」が94、「自分」が90と続いた。

表8 抽出語一覧（製造業で働きたいと思わないグループ）

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
イメージ	180	経営	14	流れ作業	9	知る	6
思う	146	低い	14	サービス業	8	頭	6
製造業	141	使う	13	ワーク	8	肉体	6
仕事	135	知識	13	会社	8	比べる	6
働く	111	繰り返す	12	器用	8	魅力	6
作業	94	少ない	12	嫌	8	黙々と	6
自分	90	専門	12	現場	8	目指す	6
人	59	男性	12	工場勤務	8	アルバイト	5
興味	48	長い	12	自身	8	オフィス	5
多い	48	賃金	12	社会	8	サービス	5
考える	47	難しい	12	辛い	8	安い	5
感じる	46	販売	12	良い	8	回答	5
工場	42	飽きる	12	アイデア	7	活かす	5
さそう	31	理由	12	違う	7	活躍	5
作る	29	営業	11	環境	7	業務	5
機械	27	時間	11	関係	7	仕事内容	5
体力	26	製品	11	厳しい	7	事務	5
向く	25	続ける	11	持つ	7	実際	5
給料	21	低賃金	11	重労働	7	手先	5
強い	21	力仕事	11	職	7	出る	5
就く	21	労働	11	職種	7	少し	5
必要	21	モノ	10	接客	7	消費者	5
好き	20	安定	10	大きい	7	人間	5
製造	20	印象	10	入る	7	整う	5
女性	19	就職	10	労働時間	7	精神的	5
単純作業	19	体	10	さまざま	6	直接	5
合う	18	体力的	10	コミュニケーション	6	得意	5
毎日	18	分野	10	悪い	6	日本	5
企業	17	聞く	10	学ぶ	6	売る	5
繰り返す	17	業種	9	危険	6	不安	5
肉体労働	17	苦手	9	業界	6	不器用	5
物	17	個人	9	決まる	6	労働環境	5
関わる	16	行う	9	見る	6	AI	4
技術	16	行く	9	産業	6	1つ	4
職業	16	今	9	勝手	6	な	4
将来	15	商品	9	生活	6	スキル	4
他	15	性格	9	大変	6		
大変そう	15	福利厚生	9	男	6		

共起ネットワーク分析を行った結果を図示したものが、図3である。出現数が5以上の項目を強制抽出する語として指定した。その結果、「工場での仕事」、「黙々と続ける」、「賃金が低く体力的」、「体を使う仕事」、「専門的知識が必要」、「労働時間が長くて辛い」、「労働環境が悪い」などといったキーワードが抽出された。

図3 共起ネットワーク (製造業で働きたいと思わないグループ)



### IV おわりに

本稿では、若年層の人材のなかでも、筆者が勤務する大学の社会科学系学部 to 所属する大学生に対して実施したアンケート調査の概要ならびに結果を紹介するとともに、調査から得られたデータを分析することで、製造業との接点が乏しい社会科学系学部 to 所属する大学生が、就労先として製造業をどのようにみているのかを明らかにしていくことを目的としていた。

本稿での分析をつうじて推察されることは、社会科学系学部 to 所属する大学生は、製造業に対して「働きたいとは思わない」層が多いが、そもそも製造業に対するイメージが先行しているということである。具体的には、製造業であるということが、工場に仕事をしたり、黙々と続けるような単純作業であったり、賃金が低く体力を要したり、体を使ったり、専門的知識が必要であったり、労働時間が長くて辛かったり、労働環境が悪かったり、などといったイメージをもつ。社会科学系学部 to 所属する大学生は、本当にそれらが製造企業において真なる情報であるのかを確かめもしないままに、「就職活動」を展開し、そして製造企業を対象業種から外していく。それゆえに、彼ら・彼女たちは、製造企業を知る由もなく、製造業以外の業種から就労先の企業を選択していくのである。

社会科学系学部に所属する大学生が実際にどのような仕事で製造業のなかでなされているかを知ったり、または理解したりすることなく、就労先としてその可能性は「ない」と考えている可能性が高い。このように考えると、製造業に属する企業が、若年層たる社会科学系学部の大学生を新卒で確保していくためには、製造業の真なる情報を正しく伝え、製造業に対するイメージを払しょくさせることが必要であろう。しかし、そのことと同時に、そうしたイメージを払しょくさせるほどの経営実践を製造企業が行っているということも重要となる。社会科学系学部所属する大学生が就労先として選択しうるだけの魅力ある経営実践を真に伝えていくことが、製造企業がそうした大学生など若年層の人材を確保していくために必要なのである。

#### 付記

本稿でとりあげたデータの一部は、2019年6月13日に実施された、一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所主催による「関西製造業の人財確保セミナー」での筆者の講演資料として活用されている。本セミナーは、一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所の2018年度独自事業の成果報告会として実施された。なお筆者は、この事業の検討委員会の委員長を拝命しており、この委員会をつうじて、製造業の人材確保問題について考察する機会を得ることができた。なおこの事業は、株式会社地域計画建築研究所が受託した。一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所の山本陽一所長ならびに島村加代子課長をはじめとする関係者の皆様に、この場をお借りし、感謝を申し上げたい。なお、本稿でとりあげたデータの解釈や、本稿でありうるべき過誤は、筆者の責に帰することを明記する。

#### 参考文献

- 一般社団法人日本機械工業連合会・一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所・一般財団法人機械振興協会（2019）『平成30年度「関西地域機械産業の振興に向けた人財・人手不足等の現状と対応策に関する調査」報告書』（[http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/gannendo/30kansai\\_h.pdf](http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/gannendo/30kansai_h.pdf)）
- 関 智宏（2017a）「中小企業で働く－大学生が中小企業で働く際に求めること－」同志社大学商学会『同志社商学』第68巻第5・6号，pp.103-140
- 関 智宏（2017b）「中小企業をイメージする－2013年度における大学生を対象とした調査から－」同志社大学商学会『同志社商学』第69巻第1号，pp.85-148
- 関 智宏（2018a）「中小企業の国際化と成長発展プロセス－『ヒト』の国際化による企業組織の質的变化－」日本中小企業学会編『新時代の中小企業経営－GlobalizationとLocalizationのもとで－』同友館，pp.31-44
- 関 智宏（2018b）「中小企業をイメージする（2014年）－2014年度における大学生を対象とした調査から－」同志社大学商学会『同志社商学』第69巻第4号，pp.61-88
- 関 智宏（2019a）「中小企業をイメージする（2015年）－2015年度における大学生を対象とした調査から－」同志社大学商学会『同志社商学』第71巻第2号，pp.115-144
- 関 智宏（2019b）「機械系産業・企業における人材確保と新たな対応－文系大学生の『就職活動』の視点から－」機械振興協会経済研究所小論文（[http://www.jspmi.or.jp/system/file/6/78/201908essey04\\_seki.pdf](http://www.jspmi.or.jp/system/file/6/78/201908essey04_seki.pdf)）

## 資料

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 1
A	1	5	作業服で町工場での仕事 仕事中の怪我や事故が多い 企業の下請け 職人や特殊な技術を持っている人が多い 器用な人が多い	A	3	4	はま寿司 くら寿司 かつば寿司
A	2	4	特許 身近 生活に密接 個性豊か BioB BtoC 食品 精密機器 ゲーム 家電	A	2	4	生産 大量生産 工場 機械 低賃金
A	1	4	鉄鋼 鉄は金の王なる哉。全ての産業に不可欠な素材。非鉄金属 電線に始まり、ハイテク産業を支える。化学、石油 基礎化学品から最終製品まで、あらゆる分野で豊かな生活の実現に貢献。	A	1	4	機械に囲まれた工場 屈強な男の人が働いている 危険と隣り合わせで働いている
A	1	4	メーカー ものづくり 工場 暮らしを支える	A	1	4	機械 モノづくり 工場 日本 メーカー 半導体
A	2	5	部品業界や食品業界 大手も多い	A	1	4	メーカー ものづくり ファクトリーオートメーション
A	1	4	衛生管理が徹底している。人手不足 機械化が進んでいるところもありそう。年配の方が働いている。	A	1	4	モノづくり 日本のお家芸 第二次産業 日本の産業を支える
A	1	4	造船 工場形態 日本のインフラを支えている 機械化	A	1	4	モノをつくる仕事 日本経済の中心を担っている 第二次産業の一つ
A	1	4	ラインの作業 社会インフラ 均一の仕事量 大企業の下請け 経済の基盤 低賃金	A	1	4	ものづくり。食品や化粧品、鉄鋼に至るまで、人々の生活に欠かせないものを扱っている。
A	1	7	製造業と聞いて一番初めにイメージできるのは身近な食品の生産である。効率よく大量生産ができるかが重要である。一時期、異物混入の問題が話題となったからは、更に製造に関する衛生面や、安全性問われるようになった。他にも、医療品や機械、電子機器など、品質に重きを置いたモノを作るため、十分な配慮を配らなければならない。	A	1	4	分業 効率化 自動車 トヨタ ベルトコンベア 大企業
A	1	6	食品、衣料、家電、自動車などといった多岐にわたる業界の仕事 専門知識が必要 工場勤務	A	1	4	身近にある日用品や目には入りにくい半導体といった電子部品などを製造し販売している企業というイメージがある。またマーケティングといったコンセプト決定や市場分析といった流れで商品を製造・販売してる
A	1	6	工場 単純作業の繰り返し ブルーカラー	A	2	4	男性が多い 仕事場が固まってそう 海に近い 工場勤務
A	2	5	機械の部品等を作っている 薬などの医療品を作っている パン工場などの食品製造 機械やロボットを多く取り入れて作業している。	A	2	4	機械品を製造 第二次産業 町工場 材料とか部品 有形資産 下請け
A	1	5	工場勤務 3K ライン作業 製品管理 扱う商品によっては技術が必要	A	1	4	工場 日本の高い技術力
A	1	5	二次産業として巨大市場 直接 toc とは関わりはないがほぼインフラ	A	2	4	物作り 自動車 食品 ロボット ベルトコンベア 製紙 メーカー
A	2	5	メーカー 従業員数が多い 工場 技術	A	1	4	池井戸潤作品「下町ロケット」 精密機械 エンジニア 作業服 部品製造 組立式
A	2	5	工場勤務のブルーカラーの人たちが活躍している 幅広い分野に派生してモノを製造している 数が多い 中小企業がほとんどである 近年では世界へと流通を広げている企業が多い	A	2	4	物を作る仕事 工場での作業 規模は国内だけや、海外に広がっているところまでさまざま 生活に必要なものを作る役割を担っている 部品の製造から出荷まで行われる
A	2	4	メーカー 工場 自動車 化粧品 家電	A	1	4	建設 鉄 メーカー 車 菓子 文房具 ものづくり アップル 化粧品 TOTO
A	2	4	モノを作る モノと一言にいても、多くの分野がある (機械、電子機器、家具など) 工場で働く 技術職	A	3	4	現場系の人が多い 工場勤務 スーツをあまり着ない ビジネス間で取引してる 下請や、中小企業が多い
A	2	4	物を作る 景気に左右されやすい これからの時代、機械化が進み工場の無人化が進みそう。それに伴い、必要な人員も減少しそう 若者より昔気質な人が多いイメージ	A	1	4	大規模ライン 広大な敷地 安定した供給 町工場 職人 高い技術
A	2	4	ものづくり 食品メーカー マーケティング 町工場	A	2	4	規模が大きい 従業員が多い 大きい製品をつくる 大企業 機械 単純作業が多い
				A	1	4	低賃金 工場 中小企業っぽい
				A	2	4	機械系を一番に想像する 企業対企業のビジネスである 製品の強みを追求しつつ新しいことも同時に生みださなければ生き残れない 従業員数がほかの業種と比較して少ない
				A	1	4	食品、飲料などの製造。ネジや部品などの製造。なにかの素材を元に別のものに作り変えること。
				A	1	4	ベルトコンベア 長時間労働 原価の価格変動の影響を受けやすい 技術職 町工場 大規模施設 倉庫、土地代高い

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
A	2	4	小さな工場勤務 ブラック 同じ作業をひたすらやっている 低収入 朝から晩まで仕事をしている	A	2	3	工場のような現場で働くイメージ 勤務時間が長そう 同じ作業を永遠繰り返してるイメージ 個々の作業で他人と協力してする仕事が少ない 体力を必要としそう
A	1	4	原材料などを加工して製品を生産・提供する産業 物を作る産業 大きな工場をもつ産業 固定資産が多い産業	A	1	3	サービスなどではなくモノを作っている 作るだけではなく企画や開発も行っている 技術職的な側面が強いイメージ 機械系が多いイメージ
A	1	4	物を作る。物を点検する。機械関連の製造業。医療品関係の製造業。電子部品・デバイス関連の製造業。木材・木製品関連の製造業。	A	1	3	メーカー 工場
A	1	4	作業服 工場 メーカー 社長がおじいさん	A	2	3	工場での仕事が多い 未経験でも就きやすい
A	1	4	工場ライン 機械化 自動化 溶接 AI IoT センサー データ管理 効率化 ICT	A	2	3	工場 単純作業 肉体労働
A	2	3	工場 デスクワークが少ない スーツでなく作業着 肉体労働 技術が必要 高学歴の人より低学歴の人の方が多い	A	1	3	工場にて鉄鋼等の金属を製造している業界。
A	2	3	大人数を必要とする 同じ作業を繰り返す 立ち仕事が多い 機械による作業が多い	A	1	3	重労働 単純 低賃金 危険 年を取ると難しい
A	2	3	肉体労働 工場	A	2	3	工場 大規模 機械で動かしている 道路や水道などのインフラ 船
A	1	3	工業部品や精密機器などの生産を行う。機械や高温を伴う作業で事故や怪我がある。現場作業。下請け。専門資格が必要。	A	1	3	工場 ライン工 部品 下請け 技術者 技術職 中小企業 ウレタン 親の会社 金属部品 肉体労働
A	2	3	日常生活におけるものづくりを営む 同じ職種だけではなく、さまざまな種類がある。さまざまな種類に分かれてあるが、全て私たちの生活とかわりがある。いろいろな工程に分かれている。工場などでの短期バイトは製造業というイメージを持っている	A	2	3	消費者と間接的に繋がっている あらゆる物の製造 技術が必要 機械作業 手作業 商品の企画・開発
A	1	3	ライン作業 地道 単調な仕事 3k(きつい・汚い・危険) 立ち仕事 開発業務などもある 大企業から中小企業まで多岐にわたる	A	2	3	第二次産業 物を作る 加工する 検品 梱包
A	2	3	ベルトコンベア 多数の部品 機械の使用 単純作業 忙しい 休みがない 物を作る 全部のもと 途中過程 高度な技術 伝統的な技術	A	1	3	肉体労働 工場 ベルトコンベア 大工 伝統工芸 つらいのに給料はそんなに
A	1	3	勤務時間が長い 人手不足 ロボットなどが導入されているところがある 手に職がつく 福利厚生がしっかりとしている	A	2	3	日常生活に必要なものを作る 社会を支える 事業 工場での作業のイメージ
A	2	3	何にでも必要 ものづくりの基本 さまざまな人が関わる 工場 大量	A	2	3	物を作って社会を支えているイメージ 日常生活を支えてくれている 社会の基盤 工場作業のイメージ
A	1	3	工場 会計が特殊 第二次産業 技術職	A	2	3	イノベーションが生まれる場所 系列企業や下請け企業のイメージ 日本のサービス業などを支えている
A	2	3	何かものをつくる仕事が多い 規模の小さなものから大きなものまで幅広い 我々が生きていく上で欠かせないものをつくっている	A	2	3	ブルーワーカー ものづくり 工場
A	2	3	手を加えて作る。食べ物。鉄。加工する。ヨーロッパ。物が変化して商品になる。	A	2	3	単純作業が多い 大手企業の下請け 土日休み
A	1	3	工場での業務 大量生産 機械化による従業員の削減	A	1	3	直接工と間接工がいる
A	2	3	メーカー 高度な技術 日本の得意分野 ものづくり 工場	A	2	3	機械や自動車、その他重化学工業といった工業系のイメージがある。飲食業界の製造業で働きたいと思う。
A	2	3	男性の社員が多そうなので、女性は肩身が狭そう 単純作業で、やりがいがないそう アットホームな現場なイメージがある 個人作業で、他人と協力して何かをやりとげることができなさそう 顧客との関わりが少なく、意見を直接聞くことができないという面でやりがいがないそう 歯車になりそう	A	1	3	物を作っている 経済を影で支えている 工場 働いている
A	2	3		A	1	3	日本の中心産業 これから縮小していくかもしれない
A	2	3		A	1	3	外国人 しんどそう 工場 作業着 低賃金
A	2	3		A	3	3	賃金が安い 中小企業が行うことが多い分野 特別な技術がある程度必要 体力がいる
A	2	3		A	2	3	過重労働なイメージが強い 技術力が必要そう 日本では自動車の生産などの割合が高そう 工場必要
A	2	3		A	1	3	中小企業が多い 他業種と比較して企業数が多い モノをつくる ブルーカラー
A	2	3		A	2	3	第二次産業である 原料を加工して製品を生産する 日本を支えている業種

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
A	2	3	ものづくりをしている産業 産業の中で大多数を占めている 男性の方が働いている人が多い 第二次産業であらゆる分野のたくさんの種類を製造している 技術・効率化が求められる	A	2	3	肉体労働 低賃金 ブルーカラー あまり学歴が高くない 外国人労働者 ベルトコンベア 中小企業 下請け
A	2	3	工場 ブルーカラー 男性が働いているイメージ 機械 肉体労働	A	2	3	労働者人数が多く、賃金が安い 肉体労働がきつい 他の従業員とのコミュニケーションがあまりなく、交流が少ない 就業時間がきっちり決められている 決められた休みが必ずとれる
A	1	3	食品、住宅、アパレル、自動車など、幅広い分野がある 文字通り作る側の人間もいれば、その販売促進、営業、マーケティングなどを専門に活躍する人もいる	A	2	3	物を作っている 接客をしない 賃金が安そう
A	2	3	モノを作る企業 ネジなどの部品を使っているイメージ 大企業の下請け 細かなパーツを作っている 下町にありそう	A	2	3	勤務時間が長そう 個々の作業が多そうで機械が多いイメージ 自分のペースで仕事ができそう
A	1	3	物作り メーカー 工場仕事 マーケティング 忙しい	A	2	3	現場 人手不足 技術者 大量生産 ライン生産 低賃金 単純作業 機械化
A	2	3	生活に関与するもの全て、分野が多岐に渡る ブルーカラーに多い職業 日本の経済を中心となって支えている業種 町工場などに多い仕事がマニュアル化されている パートの人が多い	A	1	3	重労働 頭よりも体を使うイメージ 機械的体を使い疲労が溜まるわりに低賃金 ブラック企業
A	2	3	給料にあまり変化がなさそう 福利厚生が充実 職場の人間関係が業務にあまり影響しなさそう 体力が必要 業務に変化があまりない	A	1	3	機械的なものを作る 特別な技術を持った技師がいる 車や家具などの多種多様な物を作る 産業を根幹から支えている
A	2	3	トヨタ 造船所 工場 大量生産	A	1	3	工場勤務 車のイメージが強い 大変そう
A	2	3	肉体労働 きつそう 造船業などのイメージ 工場勤務 福利厚生がしっかりしている 手に職がつきそう	A	1	3	機械作業 単純作業
A	2	3	体力が必要な仕事 製品を製造するために細かい知識を覚え、ひたすら同じ作業を繰り返し、少しのミスも許されない 手を多く使う	A	2	3	工場などの現場作業 中小企業が担っている 理系の仕事
A	1	3	工場労働者 ブルーカラー ホワイトカラー に対して低賃金 3K 外国人労働者	A	1	3	工場勤務 理系部門 技術者が多い 新商品開発に力を入れている 部品から製品まで多彩
A	2	3	工場での加工、組み立て、梱包 機械による自動化 300人くらいの従業員 シフト制 品質問題 ベルトコンベアの上での作業 ライン作業 定時勤務	A	1	3	中小企業 少人数 流れ作業
A	2	3	経済の基盤 職人気質 日本文化の存続	A	2	3	工場で働く仕事である。働く時間が長そう。同じ作業ばかりが多そう。給料があまり良くなさそう。能力のある人が上に立てそう。体力勝負な所がありそう。
A	2	3	何かしらの物を作る仕事 大きめのものを作っている 専門的な知識を持った人が多そう 技術が必要	A	1	3	工場で機械と人間がともに働いている 大量生産 中国 外国人労働者
A	1	3	休日が少ない 力仕事が多い 専門知識が必要	A	2	3	大変そう。ずっと単調な作業。頭を使わなさそう。一人で作業していて、人との関わりがなさそう。工場に一日中缶詰め。
A	2	3	企業数が多い 非正規雇用が多そう 肉体労働	A	2	3	勤務時間が長そう 残業が多そう 休暇があまり取れなさそう 同じ作業ばかりで疲れそう 人間関係が狭いイメージ
A	1	3	専門職 技術業	A	2	3	ものづくり 日本の経済を支えている 作って流通させるまで多くのひとでかかる
A	2	3	機械整備士とかが活躍する。現場での仕事。取引の額の規模が大きそう。	A	2	3	人よりも機械 商業の基幹 ものづくり 規模の経済 怪我の恐れ 下請け企業 地方
A	2	3	ずっと単純作業の繰り返し 過酷 服装が作業服で、完全防備 休みがあまりない	A	1	3	メーカー 工場 中小企業 大企業
A	1	3	工場などの大規模施設ではたらく 大人数で分業する 大量生産	A	1	3	第二次産業 高音の熱を使って金属を加工している 作っているものは自動車や食品など幅広い印象
A	1	3	製造業における大企業は薄利多売、逆に中小企業は高付加価値で少数売。設備投資を怠ると人件費が高くなる。	A	2	3	何か材料から物を作る 幅広い過程を待つ業種である 工場を主な活動の場としている 工場での製造段階までにもさまざまな過程がある
A	1	3		A	1	3	鉄鋼などを扱うようなイメージが最初に浮かぶ。車やロケットなどメーカーを連想した
A	2	3		A	2	3	鉄工所 メーカー 分業してそう ブラック企業そう

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1
A	2	3	男仕事 作業着を着用 高い技術力が必要 将来潰れなさそう	A	1	3	中国やベトナムに大規模な工場がある 従業員数が他の類の企業より多い 人々に対して 商品のメーカーが深く印象に残る 長時間労働 が強いられる
A	2	3	労働が過酷 賃金が低い 手に職がつく 労働 時間が長い	A	2	3	食品や物も作る 古くからある 物を買って それを利用して作る 開発などしている さ まざまな発想力が必要
A	2	3	機械を扱う 従業員が比較的多い 夜勤があ る 力仕事 同じ作業を繰り返す 危険を伴 う仕事	A	2	3	単純作業 外国人労働者 低賃金
A	2	3	男社会 製造といっても製品は多岐に渡ると わかっているが、車のイメージが強い ほ とんど機械が仕事をしている 昔であれば重 労働 人手不足	A	2	3	品物作り 男性が多い 給料安そう
A	2	3	販売、売り込みが大変 きちんと休みがある 安月給 肉体労働	A	2	3	何かを形のあるものを作る仕事 工場が関係し ている 力仕事
A	2	3	機械作業 厳しそう 単純作業 ひたすらモ ノを作る	A	2	3	ひたすらモノをつくる モノとは、商品そ ののだけでなく部品などもつくる 工場 で行う 単純作業
A	2	3	専門的な知識が必要 幅広い業種がある 職 種がたくさんある	A	2	3	機械で組み立てやものを製造してところもあ れば、人の手によって1つ1つ丁寧に製造し ている製造過程もある。ミス1つが会社のイ メージを大きく変えそう。単純作業が多そう で飽きがきそう。
A	1	3	力仕事の部分がありそう これからの時代 ではAIやロボットが担っていきそう コンピ ューターの操作に慣れていくべき気がする	A	1	3	ライン工 文系は営業であちこち飛び回る 理系は就職に困らなさそう
A	2	3	労働時間が長い 仕事量が多い 体力が必要 な仕事が多そう 収入が低い 仕事場の衛生 面が悪そう 人間関係がよくなさそう 仕事 内容が楽しくなさそう	A	2	3	競合が多い 工場製造 出荷・在庫管理など が大変
A	2	3	忙しい 重労働 男性が多い 給料が安い	A	2	3	ものを作る仕事 工場で働く 男性社員が多 そう 機械操作をする仕事 人と関わる機会 が少なそう
A	2	3	部門が細かく分けられている 技術が必要 な仕事 生産管理者の責任が大きい 高卒の 人も働くことができる	A	1	3	工場 日用品を作ってる ライン 夜勤 キ ツイ
A	2	3	ものをつくる仕事 流れ作業	A	1	3	工場 ライン作業 単純作業をする
A	1	3	日本の産業を支えている 規模が大きい 大 規模な設備投資が必要 海外にも販路を拡大 している 日本の製造業は世界の中でも強い	A	1	3	部品製造 加工品 工場 中小企業
A	2	3	工場などの現場で働いている ある商品の1 つの部品を作っている 残業が他の業界と比 べて少ない 各工程に分かれて一人一人が 黙々と仕事をしている 食品メーカー 化粧 メーカー 機械的な作業しかなく、同じこと を繰り返している	A	2	3	大企業が多い 過酷な労働環境 正社員が少 ない 賃金が安い 規模の大きさがさまざ まである 従業員が多い
A	2	3	ものづくり 規模がいろいろ 技術 灰色 工場 生活の基盤	A	2	3	堅物なイメージがある たくさんの子会社で 成り立っている 大きな会社が統制する 生活用品を作っている 原材料などを加工す ることによって製品を生産・提供する産業 経済活動において主要な位置付け 体労働や 単純作業が多い上に給料が安い職種 同じ作 業をひたすら繰り返すルーチンワークである ことが多く、機械的な作業ししかない 基本 的には24時間稼働 仕事の多くが技術職 金銭面での優遇はもちろん、寮や社宅とい った住まいのサポート、有休や各種手当など の拡充も、多くの現場で行われている 残 業がなく人間関係も問題がない 土・日・祝、 きちんと休める 人は機械のオペレーターのみ
A	1	3	ベルトコンベアを使い作業している。大きな 工場で製造している。ロボットを使い作業 をしている企業もある。	A	2	3	工場など、現場での仕事はほとんどそう や りがいがあまり感じられなさそう メーカー もある 残業なさそう
A	1	3	車や家電のメーカー 技術力を持っている 規模が大小さまざま	A	2	3	ものを作る 体力を使う 高収入か低収入か だったら低収入 決められたシンプルな作業 大変
A	2	3	大企業もあれば中小企業もある 工場 昔か らある AIも導入されてる 従業員が多い 外国人労働者も多い 長時間労働 低賃金 重労働	A	1	3	仕事キツイ 工場 夜勤 ライン工 派遣 が多い 重要な産業 重大な事故が起こるこ とも
A	1	3	物を作ることを生業とした仕事。食品や化粧 品といった日常的な物から車や家具とい った物まで多種多様な物がある。	A	1	3	工場がある 機械化が進んでいる 技術進歩 が盛ん
A	1	3	工場での仕事 企画からのものづくりまで 部 品などのパーツ生産 大企業の下請け 生産 するものがさまざまな範囲にわたる 技術 を駆使している	A	2	3	同じ工程作業をひたすら続ける。
A	1	3	ものづくり 大國日本 莫大な設備投資金 ヤ ンマー				

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1
A	1	3	工場での仕事が多い 機械を買うお金などで常に借金がある 作業着 職人 人手不足	A	2	3	機械ばかりであり人が行う仕事がない 他人と関わる仕事がない、個人の作業 給料が安い 体力勝負の仕事 男性が多い 残業がない 福利厚生がしっかりしている 上下関係が厳しい
A	2	3	街の工場で流れ作業をしている 地味だが社会になくはならない 外国人労働者もいる	A	2	3	モノを作る 職人技が多い いろいろな分野がある 私たちの生活に必要な不可欠 場所は工場 鉄鋼などを扱う 男性の従業員が多い 力仕事が多い 女性の働きにくい職場である
A	2	3	工場 肉体労働 メカニック 大企業の下請け会社	A	1	3	外国人労働者 運送業との繋がりが深い 取引先の締め切りに追われる マニュアル化された労働形態 中小企業である 労働生産性を重視される イノベーションが生まれる場
A	2	3	作業着をきて黙々と仕事する 単純作業 ひとりひとりが1つの仕事 (分業)	A	1	3	下請け 大変 工場 大人数
A	2	3	重労働 中卒、高卒 給料が安い 夜勤がある 男性が働いている	A	2	3	作業の工程がしっかり決まっていて、マニュアル化されている 人手が不足している 外国人労働者が多い 単調な仕事 効率の良い作業が求められる
A	2	3	ものをつくる 工場 作業着	A	2	3	ものづくり 肉体労働 多種多様 同じ作業の繰り返し 生活に欠かせないものを多く使っている
A	2	3	流れ作業 工場 運送業と関わりが強い	A	1	3	人手が不足している 機械ロボットの進出 肉体労働で人が集まらない
A	1	3	1つの企業で完結していて、専門的な知識が必要かつ少人数で経営している	A	2	3	原材料の加工をする第二次産業 食べ物の製造、機械の製造など物を作る 工場を多く持つ アルバイトが多い 誰でもできる種類により体力がいる (重労働)
A	1	3	田舎の工場などに拠点が多い 日本では車やそのパーツの製造業が多そう	A	1	3	工場でライン生産 大量生産 食品や工業部品 大企業
A	1	3	原材料に対して技術を加えて付加価値をつけその付加価値を元に会社ごとに競争していく 業界 小さなものづくりから大きい工場を持つものだと幅広い形態で行われる産業 石油など原料の価格高騰などの影響を受けやすくなる程度規模のある会社でないとは安定した成長は見込めない	A	2	3	何か物を作って売っている企業。例えば車を作るときはアルミや鉄を使う。それを加工して組み立てることも製造業だと考える。男の人が働いている。重労働で拘束時間が長い。
A	2	3	機械 物 作る 工場 日用品	A	3	3	大企業に欠かせない部品を製造する なにかしらの材料を生産する 少ないコストで大量生産する
A	2	3	同じ作業ばかりでつまらない	A	2	3	物をつくる そんなに大きな会社にはない 無くてはならない
A	2	3	家族経営から始まった 大きくなったところとそのままの大きさのところがある 汚れる人に使われる 同じ作業を繰り返す ノルマがある 残業がある 日常生活に必要なものをつくる 電力などの力がたくさん必要 海外では田舎の人が出稼ぎにきている	A	2	3	多種多様 メーカー 加工 組み立て 規模がさまざま 製造物もさまざま 技術が必要 機械
A	1	3	工場勤務 肉体労働 単純作業	A	1	3	工場で作る 日本が強そう お父さんがやっている仕事 理系が強そう
A	2	3	工場 仕事がマニュアル化されている 仕事現場の環境があまり良くない	A	1	3	現場に出て働く 肉体労働 分業 経済活動の中で主要な産業 機械部品を作るイメージ
A	2	3	工場 働く 肉体労働 ルーティーンワーク	A	1	3	ものづくりで生活を豊かにする 工場 工程によって職場が違う 連携によって成り立っている 機械化 コストが高そう
A	1	3	工場 何かを作る 日本が強そう お父さんがやっている仕事 理系が強そう	A	1	3	ものづくり 大量生産 品質が同じ 機械的工場 分業 賃金安い
A	1	3	現場に出て働く 肉体労働 分業 経済活動の中で主要な産業 機械部品を作るイメージ	A	2	3	ものづくり 細かい作業 機械を用いる
A	1	3	ものづくりで生活を豊かにする 工場 工程によって職場が違う 連携によって成り立っている 機械化 コストが高そう	A	1	3	モノを作る 大量生産
A	1	3	ものづくり 大量生産 品質が同じ 機械的工場 分業 賃金安い	A	2	3	大規模な工場がある 流れ作業が多い 販売業などに影響を受けやすい
A	2	3	ものづくり 細かい作業 機械を用いる	A	2	3	職人さんが多い 機械化で需要が減っているものづくり
A	1	3	モノを作る 大量生産	A	1	3	男性社員が多い 鉄鋼などの原材料を使用し、溶接や特別な機械を使いこなす 給料が安い 町工場が多い 特許の取得争いが激しい
A	2	3	大規模な工場がある 流れ作業が多い 販売業などに影響を受けやすい	A	2	3	車などの部品を作る 工場に勤務する 流れ作業で行う 専門性が高い
A	2	3	職人さんが多い 機械化で需要が減っているものづくり	A	2	3	大企業の下請けの部品生産工場、つまり中小企業のイメージ 町工場で、あまり儲かっていないイメージ
A	2	3	男性社員が多い 鉄鋼などの原材料を使用し、溶接や特別な機械を使いこなす 給料が安い 町工場が多い 特許の取得争いが激しい				
A	1	3	工場、作業着を着て汚れながら何かを作っている。ひたすら一日中単純な作業をしている。給料があまり良くなさそう。人間関係は深く築き上げれそう。				

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 1
A	2	3	部品工が働いている。日本の強みである。	A	1	3	同じ作業の繰り返し。食品や衣料などさまざまなジャンルがある。残業がない。手に職が付く。
A	1	3	部品を組み合わせる業界 細かい作業が多い車の部品を製造している 作業着 大企業の下請け企業が多い	A	2	3	労働組合 ストライキ 物作っている 低賃金 長時間労働 単調な仕事
A	2	3	モノ作り 機械が製造に大きく関わっている流れ作業 ルーチンワーク 産業の割合の中で大きく占めている 製造業がないとモノは作れない	A	2	3	原材料を加工する 男性が多く働いている マニュアル化されている 機械を操作する作業が多い 自分達の生活に欠かせない業種
A	2	3	技術職 デザイン 機械系	A	2	3	中小企業 工場を多数所持している 飲食物料の生産 製品の生産 原材料を加工する 大量生産
A	1	3	力仕事 トヨタ 非生産的 昔日本が経済発展した分野	A	1	3	大設備、重労働
A	2	3	メーカー 原材料 加工	A	2	3	技術職 機械 工場 薄給 時間外労働がある ノルマがある
A	2	3	工場勤務 電子機器の企業が多い 男性の従業員が多い 非正規雇用が比較的多い 体力仕事がある 残業がありそう	A	1	3	町工場 家族経営
A	1	3	鉄鋼 食品 B to B 企業	A	2	3	勤務時間が長そう 体力仕事ばかりでしんどそう 体力仕事のわりにあまり給料が良くなさそう 手が汚れたりする仕事が多そう 専門的な技術が必要とされそう 福利厚生が充実してそう
A	2	3	ものづくり	A	2	3	作業が決まっている 工場 外国人労働者が多い 人数が多い
A	2	3	ものづくりに特化している よりよい製品を作る 役割が分担されている	A	1	3	特別なスキルが身につかない 土日休める 残業が少ない 好きな業界の仕事ができる
A	1	3	モノを作り社会を支えている 社会の基盤 工業地帯	A	1	3	機械的 重労働 ブラック ベルトコンベア 低賃金
A	3	3	近代化 大企業との格差 経済成長の担い手 二重構造問題 小規模	A	1	3	ものづくり。かつての日本の経済成長の柱となった産業。企画や設計、また各部品ごとになど、分業化されている。部品ごとなどに分業されているため、専門性の高い仕事を行っている。人々の生活に必要な不可欠な産業である。
A	2	3	工場 作業着 肉体労働 単純作業 給料が安い 機械化によって需要がなくなりそう	A	2	3	勤務時間が長そう 仕事内容が同じ
A	1	3	メーカー きつそう	A	2	3	工場 モノづくり 人手不足 機械 低賃金
A	1	3	原材料を元に加工することによって製品をつくる 工場などが中心な産業 軽工業から重工業まで種類がある なくてはならない産業 女性の割合がかなり低い印象 収入が少ない 体力的にきつそう 作業着を常に着ている ブラック企業の割合が高そう 単純作業 コミュニケーションは必要なさそう 高卒やおじいちゃんまでさまざまな年齢の人が働いている AI や機械の発展によって人員削減しそう 日本の製造業は繊細	A	1	3	ベルトコンベア 従業員が少なそう 大量生産 工場でものづくりをしている ライン作業 ロボットのような仕事をしてそうなのであまり就こうとは思わない
A	1	3	町工場 工場労働者 車の製造	A	1	3	知名度の高い企業が多い 新製品の開発や製品の改良に日々追われている
A	2	3	組立 加工 仕分けや梱包 商品の点検	A	2	3	物を作ること 力仕事 工場で働く 労働が過酷そう 労働環境があまり清潔ではなさそう
A	2	3	機械化が進んでいる 私たちの生活に必要なものを作っている 分業 単純作業が多い ノルマがある 工場	A	2	3	ライン作業 町工場 休みが少ない 子会社が多い 中小企業を中心 女性より男性が働いている 最近では中国が中心となっている
A	1	3	物作り 何かの部品を作り他の企業に売っている 工場	A	1	3	トヨタ、日産などの車の製造、造船業、製菓会社、製品の組み立てや企画
A	2	3	大きな機械が並んでいて、大量に製品を製造している。従業員は白い帽子に白い服を着ている。	A	1	3	食材 クルマ ねじ スマートフォン B to B
A	2	3	人手不足 低賃金 ノルマ 機械化 拘束時間長い ものづくり 連携プレー	A	2	3	工場勤務が多い 工場での作業では単純作業の繰り返し 体を使う仕事が多く、厳しい労働を強いられる 男性の多い職場
A	1	3	原料を仕入れて加工し、それを販売している大企業から中小企業まで多くの企業が存在している 1つの製品を作るのに、工程が多く存在しており、そのために多くの企業が関わりを持っている	A	1	3	中小企業から大企業にわたってある。金属加工 中小企業の製造業は経営が大変そう。中小企業の製造業は技術力がありそう。
A	2	3	食品や機会を作っている。工場に働いてそう。職人技。理系が多い。給料が安そう。	A	1	3	モノづくり 卸売 ライン作業 商品価格 営業から販売まで
A	1	3	工場 肉体労働 原価管理 人件費 下町 労災				

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1
A	2	3	ものをつくる企業 食品から機械まで幅広い種類 手作業から機械化 製造業に携わっている人は多い 日本の経済を動かしている社員数が多そう 緻密な作業 同じ作業の繰り返し	A	1	3	モノをつくっている 第二次産業 工場などでつくっている
A	2	3	モノを作る会社 働いている人は男性が多そう アットホームな職場なイメージ 他人と協力し合うより個々の作業が多そう 重労働 器械を使う	A	2	3	ものづくり メーカー 二次産業 中国 ベトナム 工業
A	3	3	流れ作業 清潔 人が多い	A	2	3	主に工場で生産されている 中小企業が多そう お菓子や車などのイメージ
A	2	3	工場 自動車 流れ作業 ベルトコンベア 男の仕事	A	2	3	メーカー 自動車産業 海外進出 中国が強い
A	1	3	福利厚生が充実している。文系と理系の仕事 がしっかりと別れている	A	1	3	しんどい 工場 きつい 力仕事 朝が早い
A	2	3	私たちが生きる上で必要なものを作るものづくりの仕事 工場などでの作業はベルトコンベアなどを使った流れ作業が主流 機械やテクノロジーの進化により機械化が進んでいる 黙々と行う 3Kと呼ばれるような仕事もある	A	1	3	種類が幅広い 技術が応用できる ITに次ぐ大企業の印象 下請けが多い
A	2	3	モノづくり 日用品を作っている 男性が多いイメージ 自動車や部品を作っている 食品を作っている ものづくりの過程 働いている人が多い	A	2	3	メーカー ものづくり さまざまな分野がある 工場勤務 ハードワーク 技術職 男性が多い 機械化 大量生産
A	1	3	膨大な仕事量との対価が少ない 常に人手不足 高齢化が進んでいる	A	1	3	中国で行われている 賃金が安い 単純労働 長時間労働 ベルトコンベアで働くケースが多い 大体の人が低学歴
A	2	3	工場などの現場で働く 下請けが多い 給料が少ない 技術職である	A	1	3	長時間労働 縛られる 同じ作業をする 大量生産 人間関係が細かくない 年収が低い ブラック
A	2	3	同じ作業ばかりで飽きそう 個人作業が多そう 細かい作業が多そう 忙しそう 人間関係が楽しそう	A	2	3	勤務時間が長い あまり会社の上司と直接会えない 同僚との関わりが少ない 給料が少ない 手に職を付けられる 土日祝日がきちんと休める 人間関係は良好
A	2	3	中国の脅威 量産型 大量生産 作業の機械化 単純作業の繰り返し	A	1	3	中小企業 工場 さまざまな分野に通じている 製造業で働いている人の割合が多い 全体的に男性が多い 大企業との格差が大きい 経済成長の大きな役割を担っている
A	2	3	ルーティンワーク 流れ作業 作業着 現場職 単純労働 機械	A	2	3	低賃金 下請け会社 中小企業 技術力
A	1	3	工場 作業 重労働 車 コンビナート	A	3	3	メーカー たくさん存在する
A	2	3	メーカー 工場 モノをつくる 賃金が安い 労働力が必要	A	2	3	機械的 組織的 ものづくり 伝統的 理系が多い 男性が多い 中小企業も活躍している 食品から機械まで幅広いジャンル 工場 地域的
A	2	3	下請けの工場がたくさんありたくさんの人が働く きつい 汚い 危険が伴う 事故 ブルーカラー	A	2	3	企業数が多い さまざまな種類がある 過酷
A	1	3	重労働	A	2	3	工場 物作り 生産
A	1	3	利益率が低い 上流に存在する 大きなものを作っている 具体的な産業で言うと、鉄鋼	A	1	3	肉体労働 手に職がつく 機械作業
A	2	3	工場 モノを作る 流れ作業 メーカー	A	2	3	船や車などを作っている 町工場 職人が多い
A	2	3	力仕事 食品や部品などのさまざなつくるという分野で欠かせないところ 自分たちの生活を支えている	A	3	3	日本の強み モノづくり 中小企業 町工場 下町ロケット
A	1	3	モノをつくる仕事 土日は休める ブルーカラーとホワイトカラー 同じ作業が続く 最新鋭 最新技術 常に新しいものを作らないといけない	A	1	3	工場 ライン工程 技術 流れ作業 同じことをする
A	1	3	肉体労働 単純作業 精密さが求められる 工場がすごく大きい 時間外労働が多い 低賃金 将来が不安定	A	2	3	工場 下請け ものづくりの現場 技術職 分業 部品製造 営業 派遣、パートが多い
A	2	3	主に工場での作業 オフィスでの企画	A	2	3	さまざなモノをつくっている 大企業から中小企業までさまざな 技術職が多い 理系のイメージ 工場を持っている
A	2	3		A	1	3	第二次産業 鉄鋼や造船など大規模な事業 大規模な工場を持つ 大量の資源を投入 対外輸出 高度経済成長期の主要産業
A	1	3		A	1	3	生活に役立つものを作る 加工する 梱包する 組立 生産 工場 福利厚生がしっかりとしていない
A	1	3		A	1	3	少数の人達で職人技のような物を兼ね備えて、製造している 例えていうと、ビール製造

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
A	1	3	工場など 尼崎 発展途上国 大量生産 外国人労働者	A	2	3	暮らしに必要なモノを作っている さまざまな分野がある 技術が必要
A	1	3	車をつくる 自転車をつくる	A	1	3	メーカー パナソニック 海外進出している
A	1	3	メーカー モノづくり 第二次産業 工業簿記 工場 ブルーカラー	A	2	3	単純作業 体力仕事 個性が出せない 機械を活用する
A	1	3	工場 分業して効率的に製造している 中小企業に多い 日本は製造に強い (高品質) 自動車業界 機械化 残業が多そう 反復作業	A	2	3	経営を安定させるのが難しそう 工場 大量生産 下請け
A	1	3	ベルトコンベア 大手が多いイメージ 工場が支えている 戦後の日本を支えた 倒産のリスクが高い いろいろな会社 (下請け) などと連携している	A	2	3	特化型生産 部品別企業 大敷地工場 作業の機械化 専門的知識の重要性
A	1	3	トヨタ、ホンダなど大企業の下請け	A	2	3	流れ作業 低賃金 機械系 勤務時間が長い
A	2	3	工場や町工場などの製造場が主な職場。体を使う労働。鉄鋼業や造船業。主に何かを作ることを専門とする業種。	A	1	3	モノを加工して部品をつくる。工場で仕事が行われている。軽作業から重作業まで幅広い。消費者までの販売はほとんど行わない。
A	1	3	食品 部品 (車など) 衣料	A	1	3	職人 過酷な労働環境 派遣社員 繊細 中国 後進国
A	1	3	工場 食品関係よりかは機械を製造している 車などを製造している 大企業よりかは中小企業 世界で通用する技術を持っている 日本人の得意分野	A	1	3	工場で生産している。大量に生産する。専門的な技術が必要。ベルトコンベアなど。速さが命。単調な仕事が多そう。
A	1	3	物作り 工場 町工場 技術者 特許	A	2	3	原材料の調達から加工を行っている 設備費用が莫大 機械化
A	2	3	仕事が大変 繊細そう 人手不足 女性が少ない 作業が決まっている 一人一人の仕事がある	A	2	3	スキルが身につかない 単純作業である
A	2	3	ものづくり 工場 作業 体力仕事 男性が活躍しそう	A	2	3	工場 日本が強い 幅が広い 分業 人手が必要
A	3	3	製造業があるこそ、生活を豊になる 主にモノづくりの仕事が多い 機械がいっぱいある仕事は複雑ではない 工場働く人は低学歴のほうがいい	A	1	3	メーカー
A	1	3	工場 食品 部品 機械 船	A	2	3	仕事が大変そう あまり給料が高くなさそう 職人の人がいたりする場合は、従業員がとでも少なそう あまり福利厚生等が整っていないさそう
A	2	3	モノづくり 製造現場に機械がたくさんある 専門知識が必要 技術が必要 理系のイメージ	A	2	3	ハードワーク 女性より男性が活躍する 力仕事が多い デスクワークではなく機械を扱う 一歩間違えると怪我をする
A	2	3	部品開発 部品組立 大量生産 下町 働いた実感を商品を目にすることで実感できる	A	2	3	大変
A	1	3	モノを作る産業 工場で作業する仕事 部品など、下請け会社のイメージ 重労働	A	2	3	自分の好きな業界の仕事ができる 雇用が安定してそう 福利厚生がしっかりしてそう 勤務時間が長そう ずっと同じ作業ばかりしてそう 有能な人が上にいけそう
A	2	3	ものを作る 仕事の内容がきつい 機械的な作業 手に職がつく 作業服がある	A	1	3	工場 最近では海外での製造業が中心になってきている
A	2	3	ものづくり 職人さんが多い 流れ作業や手作業が多そう 大きな工場とトラック 時給が低そう	A	1	3	何かを作る 車 船 機械 オートメーション 単純作業 労働時間が長い ブラック 大量生産 GM 標準化 アメリカ式生産方式 3K 自分たちの身近なモノを作っている
A	2	3	メーカー 中国が強い 大量生産 分業を行っている	A	2	3	下町にある 鉄鋼 工場 さまざまな職種がある 機械化が進んでいる 中小企業、大企業に関わらない
A	2	3	機械が多い 大量生産	A	2	3	もの作りの土台 組立作業 加工
A	1	3	ベルトコンベアに流れてくるパーツを組み立てるように、流れ作業。近いうちに、人ではなく機械に取って代わられる。単純作業で、職務経験がなくても対応できると思うが、かなりの集中力が必要。	A	1	3	ブランド 新しいものを生み出す
A	2	3	工場 機械 単純作業 体力がいる 従業員が少ない 高い技術力	A	1	3	辛い 交代制 夜勤 生産を止められないから効率よくやらないといけない 熟練者がいる 専門の技術がいる 肉体労働
A	2	3	大型機械を扱っている 食品 技術の引き継ぎが難しい 技術者が必要 大量生産 自動車生産	A	1	3	単純作業 機材投資 低所得
A	1	3		A	2	3	ものづくり 現場、工場 委託されたものを作る 男性が多そう 給料安そう
A	1	3		A	1	3	工場での仕事 人間関係が良い 同じ作業の繰り返し スタミナが必要 手に職がつく
A	1	3		A	1	3	重い 機械ばかり モノを機械で作る場所 敷地面積が広い 郊外にある

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1
A	2	3	ものづくり 商品開発 同じ作業 人間関係で悩まない	A	2	2	大量生産 同じ作業が多い あまり給料は良くない
A	1	3	何かを作る 工場がある 現場(工場)で働く人とデスクワークをする人がいる 現場(工場)で働く人の給料は安い つらい 危険が伴う	A	1	2	職人技が多い 中小企業が多い 現場がメイン
A	1	3	物作りをしているメーカーが思いつく 上場した知名度の高いメーカーもあればひっそりと、名があまり知られていないメーカーもある。後者は、僕の祖父が営んでいるポンプメーカーも当てはまる。	A	1	2	ものづくり 機械業 大量生産
A	1	3	ライン工程 車の製造 給料安そう 繁忙期が忙しい	A	1	2	力仕事できつく、工場で働いている 毎日同じ作業を淡々と繰り返している 世の中はモノであふれているため、モノを作る製造業はこれからも無くならない仕事である 食料品から衣料品、そして車や家具など多種多様である
A	1	3	工場で作業員達が働いている	A	2	2	下請け 人手不足 力仕事 ほとんどの場所です、機械がメインになっている 1日のノルマがある(ノルマが早く終われば定時で帰れるが、終わらなければ残業が多く仕事を終える時間はその日の頑張りによる) 中国で多い 低賃金 労働環境が悪い(密室で機械の煙などが多いため)
A	2	3	ものづくり 日常生活に必要なものが多い 自分自身のスキルを高めることができる	A	2	2	重労働 細かい作業 従業員不足 海外労働者の受け入れ
A	2	3	工場で勤務している ものを作っている産業力仕事が多い 男性が多い 同じ作業を繰り返している	A	3	2	物を作る仕事 古くから続く会社が多い 工場なのでの作業が多い 多くのものの根本となる作業を行っている産業 物を大量に生産している
A	2	3	仕事が一定でたんたんとした作業 マニュアル化されている 男性が多い職場、女性が多い職場で分かれる ものづくり 作業の種類が多い(加工、検品、梱包、運搬など) 効率性が求められる	A	1	2	私たちが普段利用している物を加工などによって、製品として世に出している企業 工場で働いている
A	2	3	技術職 細かい部品を扱う 男性社員が多そう 食品メーカー 車、船、飛行機、などの乗り物を作ってそう 勤務時間が長そう 資格など手に職をつけそう	A	3	2	私たちが日常的に使用するものを作っている最近ではほとんど機械がやっていて、所々人間がやっている部分もある。製造業とひとくりに言ってもさまざまな業界が存在する。
A	1	3	造船 工場 大変	A	1	2	工場
A	2	3	製造されたものは小売を通して消費者に届くので、業界の中で名前が知れている企業でも消費者の中では認知度が低いという企業がたくさんある 数が多い	A	2	2	安賃金 肉体労働 大変 工場 単純作業
A	1	3	同じ作業を淡々とこなす 夜遅くまで働きそう 多分ブラック 低賃金 昇給とか難しそう	A	1	2	工場 食品 自動車 大量生産 機械化
A	1	3	トヨタ式生産方式 納期の遵守 コスト削減がかなり必要 ムダをなくす 賃金が安い JIT	A	2	2	機械がつくっている 工場内で生産 車や家電製品 第二次産業 同じ作業をずっとしている
A	2	3	工場 大規模 自動車 電気 中国	A	2	2	物を作る仕事 一から考える仕事 加工する仕事
A	1	3	すべて機械が操作 人の手で作るものもある 既存のものを大量生産 新しい商品を開発 消費者のニーズを考慮	A	1	2	作る製品によっては汚い、臭い 肉体労働 ものづくり 男性が多い 黙々と作業している 他の社員との会話が少なそう
A	1	3	機械の揃った工場でもものづくりをしている 大規模生産 部品を生産している企業が多い	A	1	2	工場での大規模な大量生産 職人 工程の繰り返し 機械 保証やリコールなどのアフターケア
A	2	3	体力を使う労働 深夜帯まで稼働している ロボットがたくさんある 大企業から中小企業まで幅広くある 郊外に工場がある 技術を持った職人が存在する さまざまな年齢の人間や体が不自由な人も働くことができる	A	2	2	分業体制をとっている 肉体労働、重労働が多い 単純作業、同じ作業の繰り返し 24時間稼働で残業が多そう 機械化も進んでいるが、手作業も多い 福利厚生があまり充実していない
A	2	3	食品を作っている。工場が大きい。企業が多い。有名な企業が多い。お菓子を作る企業のイメージ。機械の音がする。日々開発している。	A	1	2	工場 賃金が安そう 車の部品 中国で低賃金で大量生産
A	3	2	大型なビジネスで、大きなお金が動いている。経営者と労働者の資本の差が激しい。比較的安定しているイメージ。	A	2	2	ライン作業 細かい 工場
				A	1	2	理系 工場
				A	2	2	規模が小さい 部品を作る 町工場 生活を支える 分野が多岐にわたる
				A	1	2	主に工場で働いている 給与が少ない しかし大企業は割と儲けている 毎日単調な同じ作業が多い 製品の生産計画や納期にシビア

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問1
A	1	2	ブラック企業 日本を支えているもの 長い歴史がある 多くの人が働く 海外で働く機会も多い	B	1	4	工事で物を作る。ロボットでもでき、人間いらない。
A	1	2	工場勤務 一部のデザイナー等と多数の下働き デスクワークは少ないのが長所であり短所	B	1	4	機械作業 工場 効率的 年配の人が多い 手作業 既存のものを効率よく生産して安く売る 誰でもできる
A	3	2	肉体労働 きつい 下町感 同じ作業を繰り返す	B	1	4	工場 AIができる仕事を人間がしている さまざまな物を作って役立つものがある
A	2	3	単純作業 コミュニケーションを取ることが少ない 体力がいる 夜間勤務がある	B	1	4	単純作業をもくもくとこなしている
A	2	3	体力仕事 黙々と仕事する 給与が低そう	B	3	4	原材料などを加工することによって製品を生産・提供する産業で、鉱業・建設業とともに第二次産業を構成する一大分野である。工業の中でもさらに重工業から軽工業まで幅広く、各国の産業構造によって異なる分布を見せ、概して経済活動において主要な位置付けとなる。
A	1	3	工場で働く 賃金がいわゆる大企業よりも安い 製造現場の環境や設備の差が会社によって激しい	B	1	4	意外とブラック企業なイメージ
A	1	3	理系 ライン 工場	B	1	4	単純作業を永遠にやっている
A	1	3	衛生管理をしっかりしてそう 専門的な分野が必要となりそう 給料は高くはなさそう 本当にその職が好きでないと続かなそう	B	1	4	低月給
A	1	3	物を作り出す生み出すクリエイティブな仕事 専門分野 職人分野 技術系統の学校に通っている人に有利な職種	B	1	4	日常生活に役立つ物作り
A	1	3	ブラック ハード	B	1	4	機械が多い 人が関わるのが少ない 給料が安い
A	1	3	メーカー 日本が誇る産業 日本のメーカーは安全とされている 高度経済成長のシンボル	B	1	4	工場 ライン作業 労働環境がよくない
A	2	3	第二次産業 加工や組立 他の会社や他の工場との繋がり大 経済の主要 重工業や軽工業といった幅の広さ	B	2	4	工場 もの作り 新しいものを作る 電子機器や車等の部品作り 接客がない
A	2	3	食品産業 加工品 大量生産 工場の機械で作る 電子工学	B	2	4	工場 ライン作業 会話がでない
A	2	3	肉体労働で体力がないと厳しい 単純作業 資格があるほうが有利 男性の仕事 ノルマが課せられる	B	1	4	工場 物作り 開発 企画 管理
A	2	3	ブルーカラー 工場 単純作業	B	2	4	同じ事のルーティーン 物を作る 工場 イレギュラーが少ない
A	3	3	作業の分節化 システム化 単純作業	B	1	4	メーカー 製造 第二次産業 モノづくり
B	1	6	車などの製品に使用する部品などを製造している。工場勤務。あまり大きなものを作っていない。	B	1	4	衣料や食品や家電、自転車などの企業
B	1	5	工場勤務 福利厚生がしっかりしている 企業や扱う物によって過酷さに差がある	B	1	4	流れ作業を、永遠にやっているイメージ
B	1	5	地味 単調な作業 おもしろくない 言われたことをやる仕事	B	1	4	物をつくる 工場
B	1	5	製品を作ること。	B	1	4	さまざまなものを作っている 工場を所有している
B	3	5		B	1	4	工場の中で何時間も物を組み立てたり作っている
B	1	5	工場勤務 中小企業 昔からある会社	B	1	4	製造業の中にも食料、部品、家電、など多種多様の業種がある。
B	1	5	機械 食品 人不足 立ち仕事 重労働	B	1	4	鉄鋼業 工場 町工場 下請け 夏暑そう
B	2	5	物を作る職業	B	1	4	毎日同じ作業で飽きそう
B	1	5	ものを作る 部分的に必要なものを抜粋して作っている	B	2	4	難しい物を作る
B	1	5	暮らしのためになる物 今よりも便利な物を作る仕事	B	1	4	原材料の加工し製品の生産、提供をする業者。
B	1	4	技術職のイメージ・スキル	B	1	4	繊維 パルプ 車
B	1	4	下請け	B	1	4	トヨタ自動車
B	1	4	大手メーカーの下請けなどが主な業務 単価ではなく個数で勝負している 参入コストが高い ライバルが多く安さが重要 ロボット化 比較的経済に左右されやすい	B	3	4	製糸業 製紙業 機械業
B	1	4		B	1	4	車などを製造するための仕事
B	1	4		B	3	4	製造業は、原材料などを加工することによって製品を生産・提供する産業で、鉱業・建設業とともに第二次産業を構成する一大分野である。工業の中でもさらに重工業から軽工業まで幅広く、各国の産業構造によって異なる分布を見せ、概して経済活動において主要な位置付けとなる。
B	1	4		B	1	4	家電製品を作るところ

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
B	1	4	家電、自動車の工業製品から、コンビニエンスストアで販売される弁当や飲料を調理、製造する産業までが製造業と言われている	B	1	3	物作り
B	1	4	工場で働く、物を作っている	B	1	3	日常的に使用するもの
B	3	4	機械	B	1	3	その工場で食品 商品を作る
B	1	4	工場	B	3	3	何かを作ること
B	2	4	工場で物を作り出し売り出す	B	1	3	何かものを作る。開発をする。残業多い。残業は当たり前。残業代が出ない。しんどい。つらい。やりがいをあまり感じられない。
B	1	4	服	B	1	3	日常生活で役立つさまざまな物やその材料を生産するモノづくりのイメージです
B	1	4	食品関連なら、食べ物や飲み物を製造する事電子関連なら、パソコンなどを作ること	B	1	3	下町ロケット TOYOTA 車 Apple 特許権 開発チーム
B	1	4	物を作る。	B	1	3	ものを作る。
B	1	4	何かを生産する仕事	B	1	3	一日中物をつくる
B	1	4	製紙工場 重機 暑そう ベルトコンベア 服	B	1	3	下町ロケット 特許を取得するために頑張っている 町工場 大変そう
B	2	4	工場勤務 製造場所が田舎にある 知名度が低い 重労働	B	1	3	単純作業
B	1	4	物を作る 手に職がつく 仕事がきつい	B	3	3	商品を作る
B	1	4	部品を作ったりする 同じ作業を淡々と繰り返す	B	1	3	物作り 下請け 工場
B	2	4	細々した作業が多そう	B	1	3	工場
B	1	4	工業系 商業系 作業着を着ている 立ち作業	B	2	3	物を作って売る企業。
B	1	4	製造業は物を作る会社です。バネやネジを作る会社でもあります	B	1	3	飲食料品製造業 印刷 製本業 機械器具製造業 家電 パソコン等製造業 その他製品製造業
B	3	4	住宅建設 デザイン エネルギー 商品 材料	B	1	3	車などの製品を部位ごとに作ったりする 工場ですぐの暑さの中の仕事 作業服を着ている 下っ端ほど働かされそう 給料は安くもなく高くもなさそう
B	2	4	材料を加工する 工場 お菓子や食べ物などの食品	B	1	3	日常的に使用しているものをつくっている
B	1	4	日本の要である業種 生活に必要な職業	B	1	3	肉体労働 作業
B	3	3	専門的な技術が必要 工場が必要	B	1	3	食料品 繊維工業 機械 化学工業
B	3	3	製造業といっても、作る製品によって、仕事内容が全然違います。1つの製品をつくるには、加工したりするための機械を操作する人、そして、検品という作業でつくられたモノの品質管理をする人。他にも、モノを配送する際、梱包作業する人、モノの運搬準備を行うときにはフォークリフトという車を運転する人。さらには、これら一連の作業を、管理する人など、さまざまな職種があります。ただ、製造業は未経験でもチャレンジできる仕事な	B	1	3	製品の生産
B	2	3	作った物の利益で成り立っている企業、工場で作る企業	B	3	3	製造業とは、食品、化粧品、車などのものを作ることだと思います。ただしものを作るだけではなく、加工、検査することも含まれます。
B	1	3	製造業は自分が思いついた製品を作ったりするというイメージがあり創造力が大切な職業	B	1	3	食品衣料 家電 自動車商品の1つの部品を造っている仕事
B	1	3	製品の生産	B	3	3	私たちが使っている日用品や家電、自動車など、生活に必要なあらゆる物を加工する
B	1	3	物を作り売るといこと	B	1	3	単純作業 派遣社員 レーン作業
B	3	3	建設業や、製品を生産や加工したりするところ	B	2	3	人間関係が良さそう。休みが取りにくそう。給料が安い。仕事が覚えやすそう。
B	3	3	同じことの繰り返し	B	2	3	車などの部品を機械でつくっている
B	1	3	自動車製造 技術職 工場	B	3	3	生活用品を製造、私達の生活を支える仕事
B	1	3	何かを作る	B	3	3	自分自身が製造業の仕事に就いてみるか、実際に働いている人々の話を聞いてみたいとわからない
B	1	3	物を作る 工場	B	3	3	製造業は国の発展ためとても大切産業。
B	1	3	工場では夏は暑い。冬は寒い。職人。大変そう。	B	2	3	ネジ 設計図 ベルトコンベア
B	1	3	人手不足で仕事がきつそう	B	1	3	生活に必要な物を作る場所
				B	1	3	お菓子作り
				B	3	3	インスタント食品 飲料 パソコン スマホ 薬 樽 桶
				B	2	3	船や車 ネジ 手にオイル汚れ 工場 町工場

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
B	1	3	生産、加工など	B	3	2	工場で働いている仕事と思います。あまりおもしろくない仕事。
B	1	3	工場での部品を扱った業務。ベルトコンベアから流れてくる部品を使った作業をする業務	B	1	2	お菓子を作る会社
B	1	3	物や商品を作る 物を卸売業者に売る 工場 で大量生産する	B	1	2	原材料を加工して新たな製品を生産、加工する、リサイクル
B	1	2	大量生産	B	1	2	ホンダ トヨタ スズキ 日産 TOTO パナソニック 任天堂 ソニー
B	2	2	流れ作業 いろいろな暮らしを支えている	B	1	2	物を生み出す工場みたいなもの
B	1	2	薬品会社 物を作る 中小企業が多い	B	1	2	たくさんの職に欠かせない 生活に凄く役立っている 流れ作業
B	1	2	流れ作業 手作業 大量生産 手作業での少数生産	B	1	2	工場 ものづくり
B	1	2	日常生活に役立つ物を作っている	B	1	2	製品を生産、提供する産業 重工業
B	1	2	工場内の仕事	B	1	2	下町ロケット 下請け工場 金属加工 製鉄工業製品
B	1	2	物を造る仕事	B	1	2	工場の流れ作業。
B	1	2	大きい建物や船の設計図のイメージ	B	1	2	何かを作る仕事
B	1	2	薬品	B	1	2	製品を生産したり加工したりしてそう
B	1	2	物を作る（車、家具、服、食料品）	B	1	2	生活必需品が作られている 流れ作業
B	3	2	物を作る 工場	B	1	2	工場をつくる ライン作業で物を作る
B	1	2	お酒 船	B	1	2	電子部品
B	1	2	物を作る 大量生産 機械と人間で作っている	B	3	2	製造業はものづくりだと思います
B	2	2	物を作る	B	2	2	工場でする作業 物を作る 部品を組み立てる
B	1	2	溶接 小規模 外国人	B	1	2	時間が長く感じそう 賃金が安そう 同じことの繰り返し作業が多そう 開発力が必要になりそう
B	1	2	精密機器 機械の部品 造船	B	1	2	自動車の部品や衣服などの布をつくるところ。
B	1	2	作る仕事	B	1	2	物の部品を作ったりする仕事
B	1	2	大企業ではあまりない 大量生産 機会がする仕事	B	1	2	ずっと何か作る 椅子から離れられない お菓子 黙って作業する 労働時間が長い
B	2	2	流れ作業 単純作業 機械	B	2	2	製造 組立 加工 仕上げ 点検 仕分け 梱包 生産管理
B	1	2	お酒や工業品	B	1	2	ものづくり 工場勤務 機械を使う
B	1	2	工場 大手の下請け企業 安月給 肉体労働	B	2	2	下請。機械生産。町工場。
B	1	2	工場での作業	B	1	2	製品を組み立てたり作ったりするような仕事
B	2	2	物を作るためにしんどい肉体労働	B	1	2	技術が必要で力仕事で難しそうで大変
B	1	2	流れ作業で大変そう 食品のイメージ	B	1	2	商品を作るイメージ
B	1	2	工場	B	1	2	物をつくる
B	1	2	お菓子 加工物 食品	B	1	2	物を作ったり、工場の中で働く
B	1	2	ものを作っている	B	1	2	工場に近い
B	1	2	工場で黙々と作業をこなす	B	1	2	印刷、製紙
B	2	2	工場 何かを作る 大変	B	1	2	単純作業 低賃金 外国人雇用
B	1	2	食品 衣料 家電 自動車などなどの企業	B	1	2	製品を生産する場所
B	1	2	コンテナの上で商品が動いている	B	1	2	主に日常生活に必要な物などをメインとして製造している
B	1	2	同じ作業ばかりで疲れそう。男だけのイメージがある。残業が多そう。人手が足りなさそう。給料が少なそう。	B	2	2	頑張ってる 手作業 プラスチック
B	1	2	加工されて作られているイメージ	B	1	2	第二次産業を構成する一大分野
B	1	2	物を作る仕事	B	1	2	部品を作る メインのものではなくそのものに使うもの
B	1	2	何か作ったり加工したりする	B	1	2	何か物を作る。売るのではなく、作成する。作った部品を大企業へと回す。
B	1	2	工場 作業服	B	1	2	機械の操作など難しそう 毎日同じ作業の繰り返し
B	2	2	物を作っている 工場	B	1	2	日常で役立つものを作っている
B	3	2	食品を作る店				
B	1	2	物を作る企業。他の会社にもものを作ってあげたりする所。無ければ案外困るようなところ。				
B	1	2	製品をつくっている				
B	2	2	工場 従業員が多い 同じ作業が多い 外国人の従業員が多い 作業着を着て働いている				

大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1	大学 (A,B)	性別 男1 女2	学年	問 1
B	1	2	社会の役に立つものを作っている	B	1	2	物を作る仕事
B	1	2	大変 ものを作る 細かい作業	B	2	2	しっかりしている。固い。力仕事。
B	1	2	物をたくさん作って大量生産する	B	1	2	同じ作業が続く、工場で働く、きつい、給料がさほど高くない、食中毒など危険性が高い
B	1	2	資源加工 製品製造 たくさんの物を製造している 物を加工して製品を作る	B	2	2	工場 大量生産
B	1	2	ものづくりの職場	B	1	2	ひたすら同じ作業の繰り返し
B	1	2	食品 衣料 家電 自動車 自分のペースで仕事ができる 定時で帰れる	B	1	2	工場 エンジニア (技師) 車など
B	2	2	硬い 新たなものを作る	B	2	2	ブラック 昇進がない
B	3	2	作業がきつそう 作業着を着ていて汚れている	B	1	2	物を作る仕事
B	1	2	現場が汚そう 福利厚生が良さそう 人間関係が良くなさそう 給料が安そう 体力が入りそう	B	2	2	工場で役割を決めて仕事する 作業着 夜勤等が多そう
B	1	2	物を作って売り出す	B	2	2	反復作業が多い ブラック
B	1	2	やる事が決まっていそう 給料が安そう	B	1	2	反復作業が多い
B	1	2	何かを作る仕事	B	3	2	もの作る会社
B	1	2	精度が大事そう 部分的な制作に強そう	B	1	2	車 飲み物 服 ノート 電化製品
B	1	2	お給料が少ない 外国人労働者がたくさんいる	B	1	2	作業着 金属 町工場
B	1	2	工場 機械化 低賃金	B	1	2	作業服 金属 厚着
B	1	2	物を作る会社	B	2	2	工場
B	1	2	工場などで物を作る	B	2	2	何かを作っている 作業している
B	1	2	工場でものを作っているところ。最近機械で作るところが増えている。部品をつくっている。	B	1	2	飛行機の部品
B	1	2	部品の製造をしている。	B	1	2	物を作る専門の職業
B	1	2	物を作る仕事	B	2	2	ものを加工して、新しいものを作る
B	2	2	何かを作るところ工場みたいな	B	1	2	消費者のニーズに合わせたものなどを作る
B	1	2	何かを工場で作る仕事	B	1	2	レーン
B	1	2	流れ作業	B	1	2	良い品を作るのは簡単だが販売するのが難しそう
B	1	2	建築家 工場のなかで業務している人	B	1	2	機械 エンジニア 工場
B	1	2	建築会社 造船 食品会社 物を作りその物を売り収益を得る会社	B	3	2	お菓子
B	1	2	溶接やそういった部品を多く作っている	B	1	2	物作りをしているイメージ 機械を使って
B	1	2	世の中に回っているものをつくっている。	B	1	2	物作り
B	1	2	部品を作る 車 食品、	B	1	2	加工物 食品系
B	1	2	手に職がつく 福利厚生がしっかりしている 3kと言われている	B	1	2	しんどい 24時間ずっと製造している
B	1	2	工場 薬品 部品	B	1	2	トヨタ ヤマハ ソニー 大和 パナソニック 任天堂
B	1	2	淡々と作る	B	1	2	何かの部品を作っているところ
B	1	2	物を作る	B	1	2	部品
B	1	2	パンや菓子を作る	B	1	2	造船 家具 化学 鉄鋼
B	1	2	福利厚生が充実していないなさそう。給料が高くなさそう。スキルが身につかなさそう。	B	1	2	単純作業
B	2	2	工場で大量生産している 硬い 流れ作業				
B	1	2	印刷 製紙 流れ作業				
B	1	2	商品を作る				
B	1	2	仕事内容がきつそう				
B	1	2	町工場				
B	1	2	印刷などつくること				
B	1	2	製品を開発し、製造する。全て機械でやっている。				
B	1	2	何かを作る仕事				

資料2 (「製造業で働きたい」グループ)

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 2	問 3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 2	問 3
A	2	4	1	人々の生活に密接で、自分が力になっているのを実感しやすいから。					
A	1	4	1	事業分野や扱う商材、活躍できるフィールドが広い。深い知識、専門分野が問われるものの、安定した業績でもって腰を据えて勉強できるから。	A	2	4	2	たくさんある製造業の職種の中で、してみたい仕事と興味のない仕事があるからです。マーケティングに興味があるので、製品が作られた後に、顧客のニーズやトレンドを読み製品の販売方法を考えていく仕事をしたいという思いがあります。しかし、細かい作業が苦手な私にとって品質管理の仕事などは向いていないと感じます。
A	1	4	2	ものづくりによって日本や世界の人々の生活を支える社会貢献性の高さは魅力に感じるが、自分自身が金融機関への就職が決定しているため。	A	2	4	1	実際に働く予定である。(内定先がメーカー) 会社の強みがわかりやすく、自社の製品を使って生み出せるソリューションの可能性が広い、ものづくりで仕事をすることで社会貢献しやすいと考えていたため。
A	1	6	2	自分が造る部品が何の製品のどこに使用され、どのような役割があるのかということを知れば、自分の責任・やりがいが見えてくる業種だと感じるため。	A	1	4	2	日本のものづくりのレベルの高さは世界に誇れるものであり、そのような仕事に携わりたいという思いもあるからです。
A	2	5	2	製造業は、サービス業などと違って形に残るものとしてお客さんや社会に貢献できることが良い点だと思う。また、製品のライフサイクルがあるので常に新しいことを考えて成長を遂げなければならないという刺激があるのがおもしろそう。	A	2	3	2	ものをつくることは好きだからです。
A	2	4	1	世の中に多くあるため、目に見えて達成感や充実感を感じられると考えるから	A	2	3	2	製造業は日本の経済の中心であり、また我々一人一人が生きていくために必要なものをつくる仕事に携わることで仕事のやりがいを感じられるから。
A	2	4	2	消費者が求めているものを作り出すことができるし、その商品で誰かの役に立てたら良いと思うから。	A	2	3	2	製造業は安定した印象があるから。普段自分が使うモノが作られる過程に興味があるから。
A	2	4	2	ものづくりに携わることによって、世の中のニーズに応え、社会に貢献したいと考えているから。また、大学で学んだマーケティングなどの知識を活かして、世の中のニーズを把握し、人々の生活をより豊かなものにしたいため。	A	1	3	2	あるサービスを提供したりするよりも世の中の需要を探り、それに適した新しいモノを考え、企画し、製造することに魅力を感じる。試行錯誤や、失敗を繰り返しながら需要にフィットするものづくりがしてみたいから。
A	1	4	1	技術力の高さは日本の強みであり、製造業に携わることで海外で活躍できると考えたから。	A	2	3	2	一日中ベルトコンベアでの仕事にはあまり就きたいとは思いませんが、企画などには関わってみたいです。
A	1	4	2	製造業で働きたいというよりは、ものづくりを支えるメーカーで働きたいと思います。理由はこれから日本の人口が減っていく中で、工場で働く人材は減少し、労働者不足に陥ります。その際、自分がひとり分の労働力を提供して日本や世界のものづくりを支えるのではなく、センサーといった人の五感に代わる FA 機器で工場の自動化を進めていくことで根本的に労働力不足を解決できる仕事をしていての方が自分の生み出す付加価値が高いと考えるからです。	A	2	3	2	食品業界に興味があって、新たな食品の企画は楽しそうだと思うから。
A	1	4	2	製造業では人々の生活に身近なモノを製造することが多く、やりがいを感じやすいから。	A	1	3	2	製造という枠にとらわれるのではなく、IoTを積極的に取り入れて新しい付加価値を創造することに興味があるから。
A	1	4	1	有形商材のため、社会に貢献しているという実感が得られると思うから。	A	1	3	1	社会に役立つと自分が感じたものを、実際に作って売ることができるのはやりがいに直結すると感じたから。
A	1	4	1	有形商材とは価値が確かなものとして認識できるため、嘘をつきにくいから	A	2	3	2	私の父が製造業で働いており、普段乗っている電車の部品を作っていたりしていると聞いて小さい時からカッコいいなと思っていました。また、製造業の人々がいなければ私たちの生活が豊かになることは難しいと思う。誇りを持って仕事をできそうだから。
A	1	4	1	今就職活動をしているのですが、自己分析をして企業研究を行っていく中で、最終的に形となって社会に出ていくのが魅力的だと思ったから	A	2	3	2	何かを作るのはおもしろそうだと思うから。大きなものを作る流れ作業の中の何かを担当したら、そのものについて専門的にできるようになりそうだから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	2	製造業は、モノを生産し、その商品が顧客に価値を与えるということがわかりやすく感じられるからです。一般消費者に対しても、企業に対しても製造業はニーズに合ったモノをつくることで価値を提供できると思います。日本の産業を支える自動車産業も製造業です。トヨタ生産方式は世界で評価され、研究されています。他の企業でもこのような生産性を高めるための工夫が製造業では多くなされており、重要です。私はそこに興味を持ちます。また、想像力を働かせたり、先進的なアイデアが重要な職場よりも、製造業の方が性格に合っている現時点では思っています。これらのことが、製造業でどちらかといえば働きたいと思う理由です。	A	1	3	1	自身の父が製造業を営んでいるためマイナスなイメージがないから。
					A	2	3	2	製造業は今後の社会情勢次第では発展する可能性が考えられるため、安定かつ期待できる産業ではないかと考えられたから。
					A	1	3	2	ハイレックスなどの車のパーツで大きなシェアを誇る企業も気になっているため
					A	1	3	1	何かを作るというのはやりがいがありそう。そして日本が誇る業種だと思うので胸を張れる。
					A	1	3	2	身内に製造業を営んでいる人がいるため、マイナスなイメージがない。
					A	1	3	2	メーカーで働いたり、ないものを生み出す業種に興味があるため。
A	1	3	2	サッカーをやっていたので、スパイクやユニフォームなどのスポーツメーカーに興味があったから。製造の中でもデザインの分野が選手と関わる立場など楽しそう。	A	3	3	2	自分のアイデアが役に立つかもしれないから。製造以外に興味がある業界があまりない。
A	2	3	1	日本にはトヨタなど大手の製造業があり、安定もしていると思うから。	A	1	3	1	自分たちの作っているものがわかりやすく社会の役に立っていることを実感できると考えたため。
A	2	3	2	ものづくりの仕事を一度経験してみたいという思いと、自分が0から手がけた商品が世に広がる点に少し憧れがあるからです。	A	2	3	2	アイデアなどを出して新しい製品を作るのが楽しそうだから。
A	1	3	1	自分の働きを形として消費者に届けることができるから。	A	2	3	2	日本の産業の中で大きく占めているので、職にありつくと考えた。人のためであろうと儲けたいためであろうとどちらでもいいが、モノを作ることに興味がある。私たちが暮らしているこの世の中で、もっと便利に暮らしていくには新しいモノの開発が必要不可欠である。生活を支えている製造業はカッコイイと思う。
A	2	3	2	マーケティングに興味があるため、商品開発に携わりたいと考えるから。	A	1	3	2	製造業にはその会社にしかない特徴や強みがありそうだから。
A	2	3	2	家の仕事で製造業で、そこを継ぎたいと思っているから	A	2	3	2	製造業で働くことになれば、自社の商品について深く見詰め直し、問題点を見つけ、改善を繰り返し、よりよい商品を作り上げるというイメージがあるため、その過程がとても仕事をする上で魅力的だと思ったからです。
A	2	3	2	製品を製造するよりも、企画する仕事に就きたいと考えているからです。新しい製品の企画をメインに、製造にも関わりたいと考えています。	A	1	3	1	メーカーに就職して、商品開発などに携わりたいから。
A	1	3	2	ゼミでマーケティングを学んでいるので、その知識を生かして消費者のニーズに合った製品を提供したいから。	A	2	3	2	製造業はモノ作りと置き換えられることよんで、モノ作りに携わることにより、たくさんの人へ価値を与えられると思うから。モノは私たちの生活を豊かにしてくれる大切なものであるから、製造業の仕事は多くの人々の豊かな暮らしに繋がっていると思いい、それに貢献したいと私は感じた。
A	1	3	2	工場勤務は嫌だが、企画等の職に興味があるから。	A	1	3	1	ホワイト企業であるイメージが強く、またB to Cの企業である場合に、世の中に影響をもたらす商品開発をできれば、やりがいを感じる感じができそうだから。
A	1	3	2	業種・業界などは特にこだわりがなく、自分がやりたいことができるかや、会社の社風、という点に注目して働きたいかどうかの判断をしているため。	A	2	3	2	自分たちの生活の中で必要な仕事ということと、自分たちが企画をしたものができたら達成感があって良いなと思ったから。
A	2	3	2	自分の資格次第で昇進することができたり、ライフスタイルに合わせた時間で労働することができるからだ。また、製造を行うだけでなく、アイデアや設計をしたり、新製品の開発など単純作業だけではないため、働いてみたい気持ちはある。直接人々から感謝の気持ちを伝えられることはないが、人々が充実し過ごすために必要な仕事だと思う。	A	1	3	2	転職に有利と聞いたことがあるから、もしも失業しても次に繋ぎやすそうと思った。また、いろいろな経験ができそうだし、自分の関わった商品が社会で愛用されているのを見るときっと嬉しいだろうから。
A	2	3	1	自分達で考えたことが形として売出し世の中に広がっていくことに携わりたいと思っているから。また、日々の生活を豊かにする商品を考えているから。					
A	1	3	2	具体的に何か物を作るという仕事はやりがいを直接的に感じられそうだから。何をしているのかという部分が想像がしやすい。					

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	2	私はメーカーに興味があります。また、製造業は人々が生活するうえで欠かせない仕事であるため、社会貢献できると考え、働いてみたいと思いました。	A	2	2	2	私たちが生活するために必要不可欠なさまざまな食品や機械、衣類などの商品を製造する製造業は私たちの生活に密着しており、なくてはならない存在です。そのため私たちの生活を支えるという仕事を行うことができ、さらに比較的安定している業界であると考えます。
A	2	3	1	単純作業が好きなので工場などで働くには向いていると思うから	A	1	2	2	海外営業などもとても多そうなイメージがあり、いろいろな場所で働くチャンスがありそうだから。また、周りともつながりがとても強そうで、チームワークなどが生かされそうだったから。
A	2	3	2	私は特に医療機器メーカーに興味がある。医療において医療機器は外せないモノであり、人々の命を救うことのできる貴重な財だと考えているから。	B	1	5	1	みんなのために使えるものを作ってみたいから。
A	1	3	1	給料が高いイメージだから。	B	3	5	2	車の会社で働きたいです製造する自分を好きの車
A	2	3	2	現在私は体育会の部活でマネージャーをしています。夏場での練習では、手軽に水分と塩分を摂取できるポカリスエットやアクエリアスなどスポーツ飲料にとっても助けられています。私も夏場は熱中症になりやすく、スポーツ飲料をこまめにのむことで部活を頑張れています。自身の経験もありスポーツ飲料はスポーツに携わる全ての人に必要なものだと思います。スポーツに携わる学生、社会人は現在も今後も多く存在すると考えられます。そのため、スポーツに携わる全ての人の中症対策に少しでもなれるような飲料を作りたいと思いました。	B	1	5	2	自分の祖父が製造業の会社を経営していて小さい頃からその会社に行っていました。物作りが好きな僕は働いてみたいと思ったこともあります
A	2	3	2	食品などの商品企画や販売に携わりたくて考えているから。	B	1	5	2	自分が作った、関わった商品が世に出るからです。
A	1	3	2	パナソニックなどの大手企業があるから	B	1	4	2	製造業をする人がいなければ経済が回らないから
A	2	3	1	工場などで作られる過程を見るのが好きだからです。	B	1	4	2	既存のシステムを改善して行くのが好きだから
A	1	3	2	今のところメーカーで働きたいと思っているから	B	1	4	1	家電など、どういう作りで作られてるのかとか凄く気になるし、自分でも作ってみたい、製造してみたいという思いがあるからです。
A	1	3	2	世の中でこんなものがあつたらいいのにと自分で思うことが生み出せるかもしれないから	B	1	4	2	1から物をつくるのが好きだから
A	1	3	2	自由で物作りしていて良かった時代はもう終わり、今は顧客のニーズに合わせ、綿密なマーケティングを行い製造していかなければなかなか消費者に買ってもらえない時代になった。そういった大変な部分もあるが、逆にそういった困難にやりがいや成長も感じるだろうと思うので、製造業もありがたかを感じている。実家が経営している小売店を発展させるのにも役立つだろうと思うので。	B	1	4	1	親が惣菜製造・販売の会社を営んでいて、その会社を継ぐから。
A	1	3	2	今までなかったもの痒いところに手が届くような画期的な商品を開発してみたいという気持ちがある	B	1	4	2	仕事に就けるなら製造業でも構わないと思っているからです。
A	1	3	2	新しいものを作るというのはわくわくするし、作るだけでなく自社の製品を自身を持って、他のかたに紹介して購入して頂く点において、やりがいを感じながら仕事をしていけそうだから。	B	2	4	1	難しいことが好きだからです。
A	1	2	2	日本の強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	4	2	物を作るという仕事に魅力を感じており、何か作ることが仕事にしたいから。
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	4	2	ものづくりは日本の誇る技術の1つだから
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	3	4	2	あまり真剣に考えたことはありませんが、製造業の仕事をしてみたいと思っています。製造業は国の根本ですから。
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	2	4	2	物を作り世に売り出す業界が素晴らしい今後先伸びしろを感じるから
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	4	2	暑そうだし、機械を触るのは苦手だから。
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	2	4	2	人の手に渡る前の段階に関われるのはいいと思う。できあがる段階が見れる。
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	4	2	父が製造業で働いていてとても安定しているうだし、やりがいもありそうだから
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	3	3	2	好きな物を作るが楽しいと考える
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	3	2	自分が創造したものが商品化されて世にでるのが楽しそうだから
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	3	2	福利厚生などがしっかりしてそうで、休日もしっかりありそう。自分の好きなジャンルの仕事であれば意欲的に取り組めそう
A	1	2	2	日本が強みであるモノづくりをこれからも継承していくために、自分もモノの製造に貢献したいと思うから。	B	1	3	2	製造という字を見て、なにかをつくっているというイメージができたからです。

資料3 (「製造業で働きたいと思わない」グループ)

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 2	問 3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 2	問 3
B	1	3	1	自分の家は家業で製造業を営んでいるので、家業の製造業を継ぎ親を楽にしたい。	A	1	5	4	製造業は作中に事故に巻き込まれ大きな怪我を負ったり、亡くなるというニュースを目にする。なので、仕事をする上でリスクが多いから正直なところあまり働きたいとは思わない。また、自分は不器用で特殊な技術も見についていないので向いてないと思うから。
B	3	3	1	物を作りたいからです。					
B	1	3	1	働きたくないから					
B	1	3	2	同じ作業だけだと飽きてしまうから					
B	3	3	2	できればやってみる					
B	3	3	2	今の製造業の景気が良くのてそしてうちは服を作っている仕事をしているので将来両親を刑部手伝ってかもしれない。	A	1	4	5	今京都にある、湯葉の製造部でアルバイトしています。そこは深刻な人手不足です。僕が出したシフト以外に勝手に入れられました。それは労働基準法に違反しているもので、ちょうど今日、大学の学生生活課に相談に行つてやめようとしているところです。
B	2	3	1	私は広島出身であり、もみじ饅頭の製造に興味があるので、製造業で働いてみたいと思う	A	1	4	4	毎日同じような日々の繰り返しの耐えられないから。
B	2	2	2	人の役に立てそうだから。					
B	1	2	1	生活の役にたつものを作りたいから					
B	1	2	2	他のところと比べてあまり難しくなさそうだから	A	1	4	5	ある意味誰でもできる仕事で、低賃金、肉体労働のイメージがあり、直接社会に貢献している感覚を得ることが難しいから
B	2	2	2	毎日肉体労働で働きっぱなしでしんどそうだから。					
B	1	2	2	あまり製造業に興味がない					
B	1	2	2	作るのは好きだから	A	2	5	5	製造業には機械などを取り入れているイメージとともに、重労働で力仕事が多いイメージがあります。私は女性である上に体力が人よりも劣るため、向いていないと思います。また、専門的な知識が必要な製造業は、マニュアル等の暗記事項も多く必要になりそうなので、何かを創造する仕事を目標している私には目指しているものが違うかと思いました。
B	1	2	2	自分は車関係の仕事に就きたいからです					
B	1	2	1	親の仕事がそのような仕事だから					
B	1	2	1	営業の仕事がしたいから					
B	3	2	1	日本の製造業は中国より優れているからです。	A	1	5	5	すでに会社をやっており、時価総額世界一を目指すならドメイン的に厳しいから
B	1	2	1	物を作ったりする仕事が好きだからです					
B	1	2	2	自分たちが生きていく中で必要なものを作っているから。					
B	1	2	2	ものづくりが好きだから	A	2	5	4	製造業で働きたいよりも、コンサルティングやデータマネジメント業界に興味を持っています。製造業の中では、さまざまな業務があり、その業務によって、働きたいと思う可能性も、働きたいと思わない可能性もあると思います。
B	1	2	2	自分の作った物を使って欲しいから					
B	1	2	2	自分は接客とかよりうらで地道にやるほうが好きだから	A	2	4	5	能力がなくても機械に頼れば誰でもできる仕事だと思うし、自分の能力を最大限発揮できる業界で働きたいから。
B	1	2	2	私は、作るという職種よりも営業や、販売の方がしたいと考えるため。					
B	1	2	2	工業高校だったので製造業に興味がある					
B	1	2	1	楽しそう					
B	1	2	2	なんとなく楽しくそうだからです	A	2	4	5	決まりきったものだけを作るワンパターンな仕事のイメージがある。また、物で生活を支えるということに自分自身の存在価値を感じるのが難しそうなので、製造業にはあまり興味を惹かれない
B	1	2	2	自分の身近にあるもので、頭にすぐ思いついたからです。					
B	3	2	2	食品だったらしてみたい。	A	3	4	4	音楽レーベル関係の会社を建てたいから
B	1	2	2	ずっと同じ作業をするから。					
B	1	2	1	情報学部なので、情報に関わる事務関係の仕事をしたいたからです。そして、いろいろと発明し、効率よく働きたいからです。	A	2	4	5	商品を生産する職業のイメージがあり、製造した製品に対して付加価値をかけられないイメージがあるから。
B	1	2	2	裏方で輝いているから	A	2	4	5	製造業はどうしても中小企業の悪いイメージの代表格のようなイメージを持っています。あまりお金儲けできないイメージもあります。
					A	1	4	4	将来、就職先として不動産、卸売などを考えているため、また1つの製品を製造するよりもさまざまな事業に携わりたいため
					A	2	4	5	女性がとても少なそうだから。女性への制度も少なそうだから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	1	4	4	働きたくない理由が積極的に有る訳ではないが、他に自分が職に就きたい業種があるから。	A	1	3	5	手が不器用だから
A	3	4	4	工場などでは働きたくないから。また、製造業というと技術が必要なイメージがあり、そういう技術を用いた製造には興味がないから。	A	2	3	5	食べ物を加工するとき、衛生面や、売るための商品だからとても気を遣わないといけないため、大雑把な性格の自分には合っていないと感じるため。自分で絵を描いたり、料理したりするのは好きだが、自分で作り上げる物じゃないものを流れ作業や、同じ作業を続けて作るのは興味がないから。飽きてしまうと思うから。やりがいを感じないと思うから。
A	2	4	4	私が持つ製造業のイメージの中で、「機械を多く使う仕事であり、体力仕事」という点が自分には適していないと考えます。	A	1	3	4	イメージとして肉体労働のイメージがあるから
A	1	4	4	「低賃金」というイメージが払拭しきれていないと考えています。また、製造業において必要なスキルとしてまず例に挙げるのが「器用さ」です。その器用さや、精緻なスキルが私には身に付かないと考えているからです。	A	2	3	4	男性の社員が多く、女性は肩身が狭そうなイメージがあるから。また、倉庫内で毎日同じ作業を繰り返して、顧客に直接製品を渡したり顧客からの感謝の言葉を聞いたりすることができないイメージがあり、やりがいを感じる瞬間がなく、ただただ菌車になってしまいそうだから。他の社員と話し合ったり協力したりして一つの物事をやりとげる達成感がなさそうだから。
A	1	4	4	日本の製造業が世界で戦えるイメージがない。きつそう。付加をつけるのが技術にもるに出るから。専門分野に特化しているから	A	1	3	5	他に検討中の進路があるから。
A	2	4	4	ブラック企業や工場勤務というイメージがあまりにも強いため。朝から晩まで休まず働いて、かなり働いたらきついというイメージがある。また工場ということもあり、同じ作業を永遠にしていなければならないのではないかと考えて働くとなると厳しく自分の性格上合っていないのではないかと考えたから。	A	2	3	4	1日など短期間は大丈夫ですが、長期間になると飽きそうだから。
A	1	4	5	製造業よりも、物を作った後の販売戦略や経営戦略に興味があるから。	A	1	3	4	重労働且つそれに見合った賃金をもらえないようなイメージがあるから。
A	1	4	4	製造業といえば、凄い技術がいる職業というイメージがあるため、働くためにはそれなりの技術と資格みたいなものが必要なのではないかと思いき、その資格を取るのも簡単ではないし、専門職というイメージもあるので専門学校とかに行っていた人とかの方がいいと思いました。	A	1	3	4	製造業に対してマイナスのイメージが強いから
A	2	3	4	イメージする社会人生活と違うから。おじさんや男の人が多いイメージなので女の自分には行きたくない気持ちがある。仕事が大変そう。デスクワークより肉体的疲労がありそう。	A	2	3	4	体を使う(体力が必要な)仕事のイメージがあるから。
A	2	3	4	体を使って働くことには興味がないし、工場などで作業をするのは嫌だと感じる。しかし、メーカーとして奥で商品開発やデータ分析ができるのであればおもしろそうだと思う。それらから、「どうしてもやりたくない」わけではないが「どちらかといえばやりたくない」と思う。	A	2	3	4	工場での仕事のイメージが強く、男性社員が中心なイメージがあるから。
A	2	3	4	今の日本ではどこまでの作業を人が行い、それ以外の作業は機械に任せるかといった議論が進められている。だから今製造業で働いたとしても未来では機械が行っている可能性がある。したがって人にしかできないことをしてみたいと私は思う。	A	1	3	4	きつくて給料も低いというイメージがあるから
A	1	3	4	メーカーと言われると大手のイメージが強い。大規模なメーカーだと職は安定しそうだけど自分に振られる仕事は少なくて、会社の全体像が把握できなさそうだと思うから。	A	2	3	4	社会にとっては必要不可欠な事業だとは思いますが、体力的にしんどいイメージ。大企業に比べると賃金が低そう、福利厚生なども整っているのか不安。
A	3	4	4		A	2	3	5	賃金が低そう。福利厚生が整っていないさそう。長時間労働させられそう。体力的にしんどそう
A	2	3	4		A	2	3	4	わたしはものづくりよりも形に残らないサービス産業や企業間や個人間のつながりを創生する産業、またIT産業に興味があるため、です。
A	2	3	4		A	2	3	4	単純作業があまり好きではないから。手先が器用ではないので、上手く進められないと思うから。
A	1	3	4		A	1	3	4	全部の仕事内容が実際に製造作業とは限らないが、工場での作業はあまり好きではないため。
A	1	3	4		A	1	3	4	物を作ることにあまり興味がなく、サービス業の方が賃金や福利厚生が良さそうなイメージがあるため。
A	3	4	4		A	3	4	4	仕事内容に自分自身があまり興味がないから
A	2	3	4		A	2	3	4	サービスなど、第三次産業に興味があるから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	4	製造業は私の中で肉体労働のイメージで、私は体を動かして働く仕事よりも、事務等パソコンやスーツを着て働きたいと考えているからです。	A	2	3	5	肉体労働できつそうだから。その割に給料が低そうだから。せっかく大学に入っているのに、製造業で働くのはもったいないと感じてしまうから。
A	1	3	4	製造業と聞くと工場で働くようなイメージなので工場では働きたくない。また、製造業ではなく証券会社で働きたいと考えているから。	A	2	3	4	全体的には協力体制だが、基本的には個人プレーで、決められたポジションで働き、そこにばかり責任を負う形で、あまり達成感が得られないと感じるため。
A	2	3	4	人と会話したりするのが好きなので、黙々と同じ作業をするイメージがある製造業は自分には続けにくい気がするし、仕事が難しそうなのであまりしたいとは思いません	A	2	3	4	人と関わることが好きで、製造業よりはサービス業の方が自分自身にとって向いていると考えるため。
A	2	3	4	企画・運営の方が興味があるから。	A	2	3	4	一人で個々人で黙々と作業するよりは自分の時には大勢の人たちと協力しながら仕事をしていくことの方が向いていると思うから
A	2	3	4	私は3月のゼミ合宿でジャパンユナイテッドマリンの島津造船所に行きました。そこで感じたことはとても危険だということでした。例えば青い光線のようなものが見えたら見続けなさいと言われてのですが、その理由がもし見続けてしまうと夜には目が痛くなって涙が止まらなくなることでした。1つ1つのパーツなどが重たいことや製造途中に火花が散っているなどの印象が強かったです。そのため、女性はほとんどいなかったです。見学も危険だということではバスからの見学でした。また力があるなど男性の方が有利なイメージも強いです。食品加工などの製造に視点を当てていないのでこのような理由になりますが、パン工場で働いている男性の知人も製造業はきついと言っていたので男性でもきついのには女性にもっときついのはというイメージから私は製造業で働きたいとは思いません。	A	1	3	5	ブラック企業で労働の割に低賃金なイメージがあるので働きたくないです。あと働くときに頭を使いたいです。
					A	1	3	4	物を製造するよりも流通や販売の方が個人的には好きだから。
					A	1	3	4	工場勤務のイメージがどうしてもある。あまり汗かいて作業する工場勤務はしたくない。
					A	1	3	5	やりがいのある仕事というよりも作業的な仕事な感じがするから。
					A	2	3	4	体力を消耗する仕事で、あまり女性は働いていないイメージがあるから。
					A	2	3	5	単調な作業で物作りをするというよりは、実際に店頭に立ち、販売をしたり、人と関わる機会の多いサービス業の方に興味があるからです。
					A	1	3	5	製造業に対する私のイメージとして工場で製造しているイメージがあるためあまり人との関わりが少なく感じるため、私の働き方としてさまざまな人と話し合いながら働きたいので製造業で働きたいとは思わない。
A	2	3	4	勤務時間は一定で、残業せずに定時に帰れる印象はあるけれど、今日の急速なAI技術の普及によって製造工程が全て機械に管理されて人の手による作業が奪われてしまうのではないかと懸念がどうしても拭えないからです。	A	2	3	4	製造業は一人で黙々と同じ作業を続けている地味なイメージがあるので、飽きそうだから。変化があって、人と関わりながら仕事をしていきたいと思うから。
A	2	3	4	もっと人と関わる仕事に就きたいから。	A	2	3	4	同じ作業を繰り返すやり方があまり得意ではないし、従業員が働きやすい環境が整っていないさそうな印象があるから。
A	1	3	4	個人的に上下関係が厳しそうに感じるから	A	1	3	5	知識よりは感性の方が重視され才能に左右されそう。単純作業の繰り返しで何十年も続けるのはしんどそう
A	2	3	4	残業が多そうだし、夜勤もありそうだから	A	1	3	5	どちらかというとい理系の技術系の就職が多いのかな?と思ったからとあまり興味が無い
A	1	3	4	専門職にはミスが許されないとと思うので。	A	1	3	5	どちらかというとい理系の技術系の就職が多いのかな?と思ったからとあまり興味が無い
A	2	3	4	私はオフィスワークがしたいから。現場に出て汗をかいて仕事をしたくない。	A	1	3	5	少しのミスでも絶対許されず、一人一人の責任が大きいため。同じ作業をずっとし続けるのが嫌だから。また、給料が低そうだから。
A	2	3	4	毎日同じ作業を朝から晩まで繰り返すのは、精神的にしんどそうだから。	A	2	3	4	商品の完成させる仕事なので。興味はあるが、機械やロボットを扱うため。危険を伴う仕事だと思うから。
A	1	3	4	単純作業のイメージだから	A	2	3	4	商品の完成させる仕事なので。興味はあるが、機械やロボットを扱うため。危険を伴う仕事だと思うから。
A	1	3	4	製造業では、アイデア勝負になると私は考えているので、発想力に乏しい私にはあまり向いていないと思った。また、製造するモノにもよるが市場の変化に経営が大きく依存するため、非常に不安定な業種であり生涯自分が身を置く企業としては不安が残ると考えたからである。					

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	5	肉体的労働のイメージがあり、汚れ仕事や力仕事をしなければならぬのが女性としては大変だから。自社の製品を持つ会社で働く、販売相手に合わせた製品を作り直したり、自社の製品の詳細を一言一句詳しく説明できるようにならなければならないと、新社会人の方から聞いたから。	A	2	3	5	ものの製造に興味がなく、単純作業が続くのは苦痛なため。飽きてしまいそうなため。
A	2	3	4	ひたすら作業するイメージがあるので、やり甲斐やモチベーションが生まれなさそうなため。	A	1	3	5	興味が本当にないから。興味が無いものの営業や広報はやる気にならない。
A	1	3	4	あまり詳しく製造業という分野の中身について知らないということ。これからの時代ではAIが仕事現場に入り込んできて、人が活躍する場が少なくなっていくさうだから。	A	2	3	4	人と関わる仕事がしたいため、何かを作る過程には携わりたいと思わない。しかし、それを販売する部門なら働きたいと思う。
A	2	3	4	労働時間が多かったり仕事も体力が必要でしんどさうなのに対して給料が低そう。また人とあまり関わらずに仕事をしているイメージなので仕事場の雰囲気もあまりよくなさそうだから。	A	1	3	4	あまり魅力がわからない
A	2	3	4	製造業に興味がないから	A	1	3	5	単純作業の繰り返しだと思ふから。
A	2	3	4	同じ作業の繰り返しが自分には向いていないと思うから。営業などさまざまな業務を行いたいから。	A	2	3	5	自分のやりたい広報的な仕事、製造業ではできないから
A	2	3	4	流れ作業で、大変そうなため。	A	2	3	4	体力があまりないため、力仕事なイメージがある製造業には向いていないと思うから
A	2	3	4	単純作業が多く、個人作業も多いイメージがあるため。私はグループワーク、また企業と直接かかわる仕事をするなど、人とコミュニケーションをとるのが好きであるため。	A	1	3	4	派遣で何回か工場にバイトしに行った時、肉体的、精神的にキツイ仕事が多いと感じたから。
A	2	3	4	アイデアを出すのがメインの仕事がしたい	A	1	3	5	生産の機械化が進んでいる。機械で生産する方が、効率が良い、ミスも少ない。人に頼る必要がなくなり。人が必要な仕事が少なくなると感じているから。
A	1	3	4	1日中同じ作業をしているイメージがあり、自分には向いていないと思ったから。	A	2	3	5	同じ作業を繰り返して慣れるまではいいけど、慣れた後その作業に飽きが出てしまうから。
A	1	3	4	希望の業界ではないためなのと、文系で製造業に就職しても、営業ソルジャーしか職種がないのではないかとと思うから。	A	2	3	5	単調作業がほとんどで、だれでもできるイメージがあるのと、作業中に事故が多いイメージがあるため。
A	2	3	4	文系で工業や産業、化学の知識がないので働いても何をすればよいか分からないと思うから。肉体的労働のイメージがあるのでしんどさうだから。労働量と賃金の割が合っていないと思うから。	A	2	3	5	友達が働いているのを見ていて、夜勤があったり男性に混ざって重労働をしていたりするので大変さうだから。毎日同じ作業の繰り返しで飽きてしまいさうだから。
A	2	3	4	製造業の仕事は、「きつい」「汚い」「くさい」というイメージがあり、業務内容に肉体を酷使する作業があったり、油や化学薬品なども使用するために汚れやすかったりすると思うから。また、同じ作業を繰り返す印象があり、やりがいを感じなくなってしまう気がするのも製造業で働きたい理由です。	A	2	3	4	工場ですぐに汗をかきながら働きたくないからです。あと、そのような職は理系の人がつくイメージがあるから、文系の私がいっても役に立たないと思うからです。
A	1	3	4	私は、将来働きたいと望む分野は金融系か航空系の企業である。そもそも、働きたい分野が違うのである。これらの分野と製造業での類似している部分が今の私の知識ではないと思う。また、私は英語を使って海外でもビジネスを試してみたいとも思う。これらが問2の回答の理由である。	A	2	3	4	工場での流れ作業のイメージが強いから
A	2	3	5	肉体的労働だから	A	1	3	4	これはイメージでしかないが、基本的に肉体的労働が多く給料もそれほど多くはもらえない印象。個人的なことであるが、外資系の企業に務めたいのも製造業でそれほど働きたくない理由の1つである。
A	2	3	5	空港で働きたいから	A	1	3	4	まず第一に安定性に欠けることが挙げられる。というのも、多数のライバル会社との競争に勝利したいか、そうでなければ残れない資本主義社会の最たるものと製造業は言えさうで安定した給料も見込めない。また、第二にノルマなどの設定により負荷のかかる仕事が見込まれるため仕事に対するやりがいを感じる機会が少なくと予想されるためである。
A	2	3	4	工場で働く力仕事のようなイメージがあるので低賃金であると考えたから	A	2	3	4	なぜなら、機械に仕事を取られたくないし、それで給料が低くなったり仕事が無くなったりするのが嫌だから
					A	2	3	5	体を使うので、体を壊してしまいさうで、日常生活に支障きたさうと考えられるからです。もともと腰が弱いので、同じ姿勢での作業など、続けることが難しいです。そのため、そう思わないです。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	1	3	4	あまり稼が良くなさそうであり、長時間肉休労働をするイメージだから	A	2	3	4	正社員よりアルバイトの方が多そう 地道に何かを造るのが性格に合わない 福利厚生がしっかりしていなさそう 男の人が多いイメージ
A	2	3	4	サービス業で働きたいからです。	A	1	3	4	同じ作業の繰り返しなイメージがあるから
A	2	3	4	肉休労働（長時間立ちっぱなしなど）が辛いかなと思います。また、毎日同じ仕事をするとというも飽きてきてしまいそうなので、自分はあまり働きたいとは思いません。	A	2	3	4	製造業は私のイメージでは男の人が働いているイメージが大きい。また、重労働で女性には大変な仕事だと考える。ずっと工場と同じ作業をするのは大変。
A	1	3	4	作業着を着て部品を作る（組み立てる）イメージなので、大変そうだから。	A	3	3	4	他の商品の部品製造等ではなく、顧客と直接接する仕事に就きたいため
A	1	3	4	賃金が安いというイメージと、同じ作業を繰り返すからモチベーションが上がる要素が思い当たらないため。	A	2	3	4	女性が働くイメージがないから。
A	2	3	4	機械が苦手なのと、接客関係の仕事に興味があるからです。	A	2	3	4	アルバイトなどで、私には接客や営業のようなサービス業が向いていると考えたから。
A	2	3	5	販売や営業などのもつと前線で働きたいから	A	2	3	4	技術や資格が必要そうだから。
A	2	3	4	形のないサービスを提供することに興味があるから	A	1	3	4	私自身手先が器用ではなく、モノを造ることが向いていないと考えている。また、商学部に入った理由として経営、金融について学びたかったからなので製造業で働きたいとは私は思わない。
A	2	3	4	製造業では特別な資格を有している人や高い技術を有している人が優遇されるのではないと思う。また、給料が安いというイメージがある。工場で働くというイメージがあるため、肉休労働が多いのではないかなと思うから。	A	2	3	5	男性が働くイメージがあるから。怪我をする危険が常にあつて危ないし、労働環境が良いイメージが湧かない。
A	1	3	5	その物自体を作ることに誇りを持ってないしやりがいもなさそうだし、給料もあまり良くなさそうイメージだから。	A	1	3	5	ある程度自由な服装でオフィスで座って働きたいから。
A	2	3	4	先日ゼミ合宿で、トヨタ工場と造船所を見学したが、造船所を製造業の仕事とカウントして意見すると、全身つなぎの作業着に身を包んで、体力勝負！という感じの、主に体を使う仕事だということを目で見て学んだため、女である私が造船所で働くことは非常に厳しいと感じたから。	A	2	3	4	製造業といえば工場勤務のイメージが強く、力仕事などがあり、女性には厳しい環境のように感じる。また、製造業の、工場勤務以外（事務など）の仕事内容のイメージがつかないため、今の時点では働こうと思わない。
A	2	3	4	製造業のイメージは工場でモノを造ることである。わたしはオフィスで働きたいと思っているため、製造業で働きたいとは思わない。また、力作業が多く、従業員の割合は男性が多いイメージである。女性が働きやすい環境が整っていないイメージももっているため。	A	2	3	5	ものを作るよりはものを売ることに興味があるから。
A	1	3	4	私は物を作る側よりは、サービスやプロモーションなどを通してより多くの人に届ける仕事に就きたいと考えているからです。他にも製造業に関しては、個人のアイデアが尊重される場所というイメージがあまりなく、頼まれた仕事をこなすだけなので、事業の幅があまり広くない印象があり、生涯をかけて就く仕事としてはおもしろみに欠けると個人的に感じたという点もあります。	A	1	3	5	自分はモノを造ることが好きではないし、勝手なイメージではありますが、少し賃金が良くないイメージがあるからです。福利厚生なども不安があります。
A	2	3	4	製造業と聞くと、単調な作業を毎日こなすというイメージが強く、同じ作業ではなく、新しいことにどんどん挑戦したり、多くの人とコミュニケーションをとりながら働いていきたいと考えている私の希望とは少し離れた職種であると考えます。	A	2	3	4	専門的な技術が身につくそうだが、自分の個性を活かすことができないから。
A	1	3	4	私は物を作る側よりは、サービスやプロモーションなどを通してより多くの人に届ける仕事に就きたいと考えているからです。他にも製造業に関しては、個人のアイデアが尊重される場所というイメージがあまりなく、頼まれた仕事をこなすだけなので、事業の幅があまり広くない印象があり、生涯をかけて就く仕事としてはおもしろみに欠けると個人的に感じたという点もあります。	A	1	3	5	働きたい職種が他にあるから。仕事が大変そうないイメージがあるから。
A	2	3	4	製造業と聞くと、単調な作業を毎日こなすというイメージが強く、同じ作業ではなく、新しいことにどんどん挑戦したり、多くの人とコミュニケーションをとりながら働いていきたいと考えている私の希望とは少し離れた職種であると考えます。	A	1	3	4	年取が低く、自分のなりたいたいものである、自分の考えで働くことができる仕事ではないため
A	1	3	4	私は物を作る側よりは、サービスやプロモーションなどを通してより多くの人に届ける仕事に就きたいと考えているからです。他にも製造業に関しては、個人のアイデアが尊重される場所というイメージがあまりなく、頼まれた仕事をこなすだけなので、事業の幅があまり広くない印象があり、生涯をかけて就く仕事としてはおもしろみに欠けると個人的に感じたという点もあります。	A	1	3	5	自分に体力がないからです。
A	2	3	4	製造業と聞くと、単調な作業を毎日こなすというイメージが強く、同じ作業ではなく、新しいことにどんどん挑戦したり、多くの人とコミュニケーションをとりながら働いていきたいと考えている私の希望とは少し離れた職種であると考えます。	A	2	3	5	誰にでもできる仕事というイメージがあつておもしろくなさそう。機械に囲まれて危なそうだから。
A	1	3	4	機械ロボットが進出してきているので肉休労働をする必要がなくなるから	A	2	3	5	製造業は体力が必要なイメージがあり、給料と見合っとなさそうだから。また、勤務時間も朝早くからと長く、福利厚生があまり充実していなさそうだから。
A	1	3	5	機械ロボットが進出してきているので肉休労働をする必要がなくなるから	A	1	3	5	国を支える大切な業務であるが、同じ作業の繰り返しで、原価管理でその効率を上げるといった極めて行く作業が向いてないと思うから
A	1	3	5	機械ロボットが進出してきているので肉休労働をする必要がなくなるから	A	1	3	5	定時で帰れるのは魅力的だが同じ作業の繰り返しは苦手だから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	4	低賃金、労働時間が長いと思ったから					
A	2	3	5	マニュアル化された作業を毎日繰り返すというのは自分には不向きであると思うから。	A	2	3	4	工場で働くイメージが大きく、おもしろみがなさそうであるため。またあまり華やかなイメージがないため。個人が強同僚との関わりや、繋がりが弱そうであるため。
A	2	3	4	私は、モノを“つくる”よりモノを“提供する”ための戦略、経営することの方が興味があるから。その方がおもしろいと思うから。	A	2	3	4	製造業と聞くと工場での単純作業のイメージもあり、最近では工場が中国を含む東南アジアに移転しているようなイメージもあり、日本でキャリアウーマンになりたいのでどちらかといえば働きたいとは思いません。
A	2	3	4	工業高校卒などある程度知識がある人が働いているイメージで、自分には知識がなく向いてなさそうだから 給料の面などに不安があるから					
A	1	3	4	賃金が低そうだから					
A	2	3	4	体力仕事が多そうなイメージがあり、体力がない自分にはできなさそうだから。	A	2	3	4	製造業は現場職で、生産ラインでひたすら製品を組み立てるという仕事内容のイメージが強いです。体力がいりそう、給与が低そう、といった思い込みがあるからです。ただ、これは勝手な私のイメージであり、ちゃんとした実態を知らない部分が多いと思うので、「どちらかといえば」を選択しました。
A	2	3	5	単純な作業が多いイメージで、自分のやりたい仕事とは異なるから。					
A	1	3	5	私はそもそも製造業にあまり興味がなく、どちらかというとも製品を消費者に売りつけたり宣伝するほうに興味があるから。また、あまり製造業の知識がないというのも1つの理由である。	A	2	3	4	ライン作業が大変そう、労働する時間が長そうだから。体力を奪われそうだから。企業が何かしらの粗相を犯したら、倒産の危機がおおきそうだから。
A	1	3	4	ブラック企業のようなイメージがあるから。楽しくなさそうだから。					
A	1	3	4	製造業に悪いイメージがあるわけではないが、私には将来働きたい業種がすでにあり、そこを目指すために日々活動しているため、製造業で働くことは思わない。	A	2	3	5	たまに工場での事故などきくし、体力的も精神的にもきつそう、だが賃金はそんなに高くない、おじさん多そう、と私のイメージでは非常にマイナスな仕事。そもそもイメージしかなくて、実際の製造業とはどのような仕事か該当するのかなど詳しいことも知らないし、自分にとって速い仕事だと感じる。そのような理由も含め、できる限り働きたくはない。
A	2	3	4	勤務時間が長そうなのと、自分のスキルアップにならなさそうだから	A	1	3	4	重労働なイメージがあるから
A	2	3	4	昔ながらの伝統を受け継ぎ、難しい技術が必要な製造業もあると思うが、大量生産のものは誰でもできる作業で、低賃金なイメージがあるから。製造業で働くのは、今同志大学で勉強していることが、活かされないような気がします。	A	1	3	4	現在働きたいと考える業界とは全く異なるから。既存の経営資源や新たな経営資源を用いて事業を行う交通インフラなどで働きたいと考えているからです。
A	1	3	4	ロボットのするような仕事をしてそうなので、頭をあまり使わなさそうなので。	A	2	3	4	ものづくりをする方ではなく、販売する方をしたいから。
A	2	3	4	製造業は一言で言えば大変そうなイメージがあるから。力仕事というイメージがあつて、頭というより体力を使う仕事だと思うから。また、働く工場があまりキレイに保たれていないイメージもあるから。	A	1	3	4	製造業は分野に偏りがすぎるため、自分が特定の企業に入ってしまった場合、その分野の製造業にしか関われないと感じるため。私はモノに限らずさまざまな価値の創造に関わりたいため、製造業ではどちらかといえば働きたくはない。
A	1	3	4	製造業というと物作りのイメージがあり、自分が特にそのようなことが得意が好きとは感じられないため	A	1	3	5	僕自身は、給料を多くもらいたいため、低賃金のイメージがある業種は遠慮してしまう。
A	1	3	5	社長になりたい					
A	2	3	4	手先の器用さや地道な積み重ねのようなイメージがあり、私の性格などから合わないように思う。	A	2	3	4	女性には優しくない職場ではないかと思ってしまう。福利厚生面の不安や、重たいものを持つたりするなど、体力面の心配もある。他の業種に比べて安定した職のイメージがない。私は機械やモノづくりよりかは人と接したり、人に関わる仕事に就きたいから。
A	3	3	5	覚えたことをひたすら実行する感じだから	A	1	3	4	自分には他にやりたいことがあるので。
A	2	3	4	製造業には工場で働くイメージがあり、私はそのような仕事よりサービス業で働きたいから。また、黙々とものを作るというよりは、人とコミュニケーションを取りながら仕事をしたいから。	A	2	3	4	専門的な知識が必要そうだから。あまり製造業のことを知らないから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	4	製造業のランキングなどを見ると昔は日本がランクインしていたが、現在は中国や台湾、韓国などがランクインしていて、あまり日本の製造業に良いイメージがないから。	A	1	3	4	低賃金で労働時間が長いなど労働環境が悪いイメージがある。一定の労働時間ではあっても夜勤などに柔軟に対応しないとけないため自分の時間が定まらないイメージがある。
A	1	3	4	先程のイメージにも書いたように朝が早くてきつそうだから。また体力的にもしんどそうだから。	A	1	3	5	福利厚生がしっかりしていないから。同じことを繰り返して達成感が低いイメージがあるから。
A	1	3	5	私が製造業で働きたくないと考えたのは、あまりにも単純作業で低賃金だと感じたからです。ほかの仕事と比べて製造業はあまりにも自分の力と見合っていないと感じているので働きたくないと考えています。海外で私は生活していて、英語にも自信があるので、製造業の分野では私の能力は生かされないと感じるので働きたくないと感じました。	A	1	3	4	製造業に対するイメージが工場や農業などの印象が強いため、労働時間が長く身体的にも辛い職種だと思いあまり働きたくないと思いました。さらに、この職種に限ったことではありませんが働き手がたくさんいて安定して長期間働き続けるのが難しいのではないかとこの理由の1つです。ここまですべてまとめると、安定して長期間働き続けることを重視する私としては魅力的な職種とは言えなかったので働きたいとは思えないと回答しました。
A	1	3	4	同じ作業を繰り返すという行為を仕事にしてしまうと、目的がなくなってしまうため。目標などがなくなってしまうと、仕事に対するモチベーションが下がってしまうので、自分の気持ちを保つことが難しくなってしまうと考えたため。	A	1	3	5	製造業は機械をいじるイメージがあるから、不器用な自分には向いていないと感じたから。
A	2	3	4	製造業で働くことあまり人と関わることができないから。営業など会社の人や顧客と実際に会って仕事がしたい。製造業は、工場で働くことが多いと思うから、その点自分の理想とは違うと考えたため。また男社会のイメージが強いため女性にはあまり向いていない内容がおおいのではないかとおもったから。	A	1	3	4	他の業界に興味があるから
A	1	3	5	製造業も社会で大きな役割を担っているが、私は製造業の人たちが作ったものを会社に就職して、売っていききたいという夢があるからだ。	A	1	3	4	同じモノを同じ作業で日々製造しているイメージがあるため私には合わないと思っただ。私は人とのコミュニケーションが好きのため、人と直接関わる仕事に就きたいと思っている。そのため、私がイメージしている製造業は、鉄や部品などのモノと見つけ合っていく職業のため、そのような毎日には私には耐えられないと思う。従って、製造業は私の性格に合っていないと思ったため。
A	2	3	4	体力的な負担が大きいのにに対して賃金が低そうだから。また製造業は中小企業というイメージがあり納期や取引先の大企業に経営が左右されそうだから。	A	1	3	4	受けた仕事をラインが閉じるまで毎日同じ仕事になるので、飽きが出る。
A	2	3	4	機械的で、毎日変わらない作業を繰り返すだけのイメージなので、飽きそうだから。	A	2	3	5	製造業は体を使う労働が多いイメージが強いことから体力的な部分で難しいと考えた。また、製造業にあまり興味がなく、他の業種に魅力を感じるため製造業で働きたいとは思わない。
A	2	3	4	製造業よりも経営などの方に興味があるから。また、製造業は大卒でなくてもできるイメージがあるため、それよりは学んだことを生かした仕事をしたいから。	A	1	3	4	比較的単純な作業が多いイメージがある。毎日に刺激が欲しい。おそらく自分には製造業の仕事は合っていないと思うから。
A	1	3	5	製造業は毎日同じ仕事を淡々とこなすというイメージが僕の中ではあり、僕は同じ仕事をするのではなくさまざまなフィールドで仕事したいと考えているため。	A	1	3	4	保険会社で働きたいから。
A	2	3	5	製造業は男の人が多いイメージで現場で女性が働くイメージがあまりわかない業種であると思ったから。	A	1	3	5	コンサルティング系の企業に就職したいからです。
A	1	3	5	同じことを流れ作業のようにやっているイメージでやりがいなさそう	A	2	3	4	決まった同じ作業が多いイメージなのでやりがいがないと思ってしまったから。また、何かを企画することが好きなので自分には合わないのではないかと考えるから。
A	2	3	4	実際には営業や設計など単なる製造以外の仕事も多くあると思うが、製造業と聞くと工場勤務というイメージが拭えないから。工場のレーン作業や単純作業よりも、オフィスでの仕事や企画・広報をやってみたいと考えている。	A	2	3	4	体力のいる仕事が多く、男性が活躍しやすいイメージがあるため、女性である私には向いていないと感じたから。またしんどい割に、賃金が低いイメージがあることや、仕事内容が作業の連続で、やりがいを感じにくそうといったことも理由としてあげられる。
A	2	3	4		A	2	3	4	私は製造業より営業などに出たいと思っているから。専門知識が必要そうという勝手なイメージから少し難しそうだから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	4	作るといよりは伝える仕事に携わりたい と思っているから。	A	1	3	5	肉体的なしんどさや機械や製品と向き合う 時間が多いイメージがあり、私は人と関わる 仕事をしたいため。
A	1	3	5	将来働きたい仕事があり、それが製造業で はないため。	A	1	3	4	自分自身として人との接客するような業種 に就職したいので、あまりいろいろな人と 接することができないのは嫌なのでどちら かといえば就きたくないにしました。
A	2	3	4	労働時間が長く大変そうなイメージがある ため。作業が単調で飽きそうなるため。	A	2	3	4	同じ作業で飽きたりしんどくなったりして 続かないと思うから。また手先も器用では ないから。
A	2	3	4	製造業は景気によって変動するイメージが あるので、私自身が安定した職業に就きた いと思っているため。	A	1	3	4	給料が安そう、しんどい。
A	1	3	5	自分は単調な作業に不向きだから。	A	1	3	4	工場と同じような作業を継続したりするこ とをあまり好まないから。
A	2	3	4	製造業で働くには体力が必要で、作業も単 純作業というイメージがあるので、自分 には製造業は合わないと感じたから。	A	2	3	5	考えた事がなく、関心がなかったからであ る。
A	2	3	4	実力としては評価されてやりがいを感じる と思うが、自分の個性を活かした仕事を したいと考えているため、製造業はあまり 魅力的に感じないため。製造の段階よりは 消費者にわたるプロセスの方が興味があ るし、ものと向き合うより対人で仕事を する方が自分にとって向いていると思うた め	A	2	3	4	私は将来、商業・金融系の職業につきたい と思っているからです。また、製造業に対 して、男性の活躍する場であるとか、労働 内容がきついついたネガティブなイメ ージを勝手に作ってしまっていたからです。 そういうイメージから、製造業を就職先 の候補として考えたことはありませんでし た。しかし、製造業に全く興味がなかつた というわけではなく、何かを作り出す事は 好きなので、そういう点では製造業で働 いてみたいとも考えます。今後の授業で製 造業についてしっかりと知り、その上で就 職先の幅を広げられたらと思います。
A	2	3	4	製造業は工場、下請け、経営が不安定そう という比較的マイナスなイメージが浮か んだからです。	A	2	3	4	与えられた仕事を1人で黙々とこなす、と いうことは私の性格上厳しいと思われる。 私は人との関わりが好きで、今も接客が主 のバイトをしている。お客様と話をし ていくなかでニーズに合ったものをお勧めし満 足していただく、ということに魅力を感じ るため、1人での作業を続けなければなら ない環境は自分に合わないと思う。また期 限に追われる作業、残業が多い、体力的に きつい、などのイメージがあり、製造業で 働きたいとは思わない。
A	2	3	4	工場勤務であれば重労働である印象であ るから。また、機械操縦や機械システムの操 作など専門的知識が必要不可欠であると考 えるから。	A	1	3	4	自分の中であまりいいイメージがないか ら。勝手なイメージだけど、給料もあまり 良くないイメージがあるから。
A	1	3	5	将来就きたい職業が決まっているため。	A	2	3	5	ものを作るよりも、作られたものを消費 者にどのようにプロモーションしていくか という方が興味があるから
A	1	3	5	大学で学んだことは活かされないと思う から。商学部は経営やマーケティングにつ いて学んでいるので、技術職には活かされ ないと思うから。	A	1	3	5	同じ作業を続けていると飽きそうだしや りがいを感じない。
A	2	3	4	もっと消費者との距離が近い仕事をした いから。	A	2	3	4	体力が必要なイメージがあり、自分には適 さないと考える。また、販売業などに比 べ仕事のイメージがしにくいから。
A	2	3	4	女性が製造業で働いているイメージがあ まりない 福利厚生等が整っていないさ うなので、子供ができたときなどに育児 休暇などがとりにくそう 給料が低そう	A	1	3	4	火や鋭利な機械を扱っているイメージな ので少し危険なのではないかと思ったから
A	2	3	4	私の中では製造業は力仕事が多く、女性 より男性が活躍しているイメージがあ ったからです。また、ハードワークであ り休みもないイメージだったので、製 造業で働きたいとは思わないと回答し ました。	A	2	3	4	現場というイメージが強く、私は事務 作業を好むので、私のやりたいことは異 なり、現場での淡々とした作業よりも 事務作業のような淡々とした作業の方 が働く環境として良いから。
A	2	3	4	製造業の現場に立つことはしたくない など考える。なぜなら重労働なうえに 賃金が低いイメージがあるからである。					
A	2	3	4	製造業より人事や開発といった仕事に 興味をもっているため。また、手先が あまり器用じゃないので、アイデアとい ったような頭を使う仕事に興味がある から。					
A	1	3	5	体力的に辛いというイメージが辛いた め、また休みが不定期であるため。					
A	1	3	4	肉体労働のイメージがある、管理職 であれば働いてみたいとも考える。					

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
A	2	3	5	高校生のときに大手パン工場の製造のアルバイトをしたことがあり、長い労働時間の中で一定の動きのみで体力も精神力も削るような労働をしたことがある。やりがいを感じることもなく、大変きついものであった。体に不調が出るほどきつい労働があったが、自分がそのパートを抜けてしまうと全体に迷惑がかかるというアルバイトながらも大きな責任を感じることもあった。そのときに大学卒業後に製造業に就職するのは絶対にやめておこうと強く感じたからである。私の中ではとにかくしんどい、大変、体力も精神も辛いというイメージが抜けないため製造業では働きたくないと感じている。	A	1	2	5	良いイメージがないというのが理由ではなく、それよりも私は製造業そのものに興味があまりない。どちらかといえば、人との関わりが多い職業に就きたいという気持ちが強い。なので製造業は、イメージがどうこうという問題ではなく自分の性格に合った職業ではない。
A	2	3	5	今現在、会計士になるために勉強しているから、他の業界で働きたいという考えにはならなかったから。	A	2	2	4	製造業は、専門的知識があれば活躍でき、手に職もつく良い環境だとは思っている。しかし、それ以上に、単純作業の繰り返しで、残業も多く、体力的にも精神的にも大変そう、というようなマイナスのイメージがどうしても頭に思い浮かんでしまうから。
A	2	2	4	自分が単純作業の繰り返しに苦手であるから。思考力を使う仕事の方が向いていると思うから。	A	1	2	5	商学部に入ったのに製造業で働くのはもったいない気がするから。金融系に行きたいという目標があるから。
A	1	2	4	力仕事が多そうだから。労働環境が悪そうだから。	A	2	2	4	同じ作業ばかりなイメージがあるから
A	1	2	4	私は製造業に対して「毎日同じ作業を淡々と繰り返す仕事」というイメージを抱いています。あくまでイメージですが、それでは仕事にやりがいを感じられないと思います。一方で、私がやりたい仕事は製造業ではなく販売業です。自分なりのアイデアを用いてマーケティングし、消費者に商品を販売することが私の夢です。そして、そういった仕事にやりがいを感じます。	A	1	2	4	毎日同じような仕事を何年も続けるのは苦痛に感じてしまうからです。さらには、自分の考え・アイデアを実現、具現化できるようなクリエイティブな仕事に就きたく、製造業は向いていないと思うからです。しかし、コツコツと没頭して何かを完成させていく作業は好きなので、「どちらかといえば」そう思わないという回答にしました。
A	1	2	4	下請けのイメージが強く労働環境が不安定なため、このような回答にした。製造業はその製品を買ってくれる企業が居てこそ成り立つため自社の製品を買ってもらえないとなると、ダメージが大きく、赤字で不安定な経営になるから。また、現在では技術進歩でAIの出現もあり仕事なくなるのではないかと感じたため。	A	1	2	4	理系がデスクワーク、文系が力仕事という偏った偏見が少なからずある
A	2	2	4	命の危険が潜んでいる可能性があるため。また、将来は会計系の職に就きたいと思っているからです。	A	2	3	4	人と多く関わり、コミュニケーションをとりながら働か仕事したいから。また、体力がいる仕事はしたくないし、勤務時間にばらつきがあるのも、ワークライフバランスに影響しそうだから。
A	1	2	5	工場内がうるさそう。単純作業の繰り返しそう。	A	2	3	4	体力仕事よりも椅子に座って仕事をするようなオフィスワークがしたいから。製造業は給与が低そうだから。
A	2	2	4	私のイメージでは、製造業は工場で小さな部品等を組み立てる単純作業を数時間行うことで、それは肉体的にも辛いだろうし、同じような細かい作業をやり続けるのは精神的にも辛いと思うから。	A	1	3	4	サービス業に興味があり、そこで企画販売をしてみたいから
A	1	2	4	工場のイメージがあり、あまり工場の現場で働きたいと思わないから。また、食品や自動車のアイデアを考えることもしたいと思わないから。	A	1	3	5	専門分野というイメージがあるからです
A	2	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	A	1	3	4	いいイメージがあまりないから。人と接する仕事をしたがりたいから。
A	1	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	A	2	3	4	機械に頼っている部分が特に多いのではないかと感じ、機械が苦手なのでできれば働きたくないと思った。
A	2	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	A	2	3	5	体力がないので、仕事を続けて行く自信がないから。男性の方が力があるので、自分が女性というだけで、最初から待遇が違ふと考えるから。出世のコースがないと考えるから。
A	1	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	A	3	3	4	モノを作る仕事よりも売る仕事のほうが興味があるから
A	2	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	B	1	6	4	工場勤務や拘束時間が長いイメージ。そして同じ作業を延々と行っている。自分の性格に合っていないから。
A	2	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	B	1	5	5	自分はJF漁業組合で北近畿の魚介類を漁師さんと共に維持やPRを行う仕事をしたので製造業で働きたいとは思わないです。
A	2	2	4	製造業と聞くと今ではほとんどが機械が作っているイメージがあるため、人との繋がりを感じにくいのではないかと考えた。私自身がたくさんの人と出会う事のできる人の考え方を知りたいと思っているから、製造業ではそういった経験が積めるかという、第三次産業と比べては少ないと思う。	B	1	5	5	物作り自体にあまり興味がないため。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問2	問3
B	2	5	4	つまらなさそう。大変そう。					
B	1	4	4	自分にクリエイティブな能力がないから	B	1	4	5	自分はもともと工業高校卒で、その時授業で行っていた実習などの経験があり、自分が将来したいことではないと思ったのでそうは思わないです。
B	1	4	5	製造業はそのうち人間がいなくなりロボットでもできるようになると思うので製造業に就こうとは思わないです。	B	1	4	5	僕は将来伊賀忍者博物館に行きたいと思っているからです
B	1	4	5	誰でもできる。機械ができる仕事を人間がやる必要はない。私は、自分で創造した商品売る側になりたい。よって、製造業での労働はしたくありません。	B	3	4	4	製造業に関する知識の内容には興味がありません。
B	1	4	5	AI ができる仕事なのでいずれ給料が下がるため	B	3	3	4	私の家族やっているのはサービス業、料理店と服店とか持っている
B	1	4	5	やりたい事が製造業ではないからです。やりたい事を仕事にしたいと思っているのでそう思わないに○させて頂きました。	B	1	3	4	体力に自信がない。
B	3	4	4	今は留学生なので、まだ考えてない	B	1	3	5	自分のやりたい職種ではないから
B	1	4	4	自分のやりたい事と違うから	B	3	3	5	製造業でバイトをしたことがあり、あまり合わなかったから。
B	1	4	4	単純作業よりも自分のコミュニケーションを生かして相手と取引を行う作業をしていきたいと思ったからです。	B	3	3	4	僕は同じ作業をずっとするのがあまり好きではないからです。同じ作業をするより毎回違った仕事をしたいからです
B	1	4	4	低月給の割に働く環境とかが悪いイメージだから	B	1	3	4	製造業と聞いたらずっと同じ作業をしそうだから
B	1	4	5	流れ作業が多そうなので毎日同じことに飽きそう	B	1	3	5	不器用で細かい作業が苦手だからです。
B	1	4	4	実際に働いている人の話を聞くと労働環境が劣悪である場合が多いから	B	1	3	4	製造がそんなに好きじゃないから
B	2	4	5	接客業で働きたいと思っているから	B	1	3	4	自分は野球をやっているの、できるなら野球を続けたいと思っているからです
B	2	4	4	やりがいなさそうだし、人との会話がなさそう。まず楽しくなさそう。	B	1	3	5	ぼくは農家をするので
B	2	4	4	サービスを提供し、多くの人と関わる仕事をしたいから。	B	1	3	5	僕は、雇われるのが嫌だからです。
B	1	4	5	私は人間性を生かした仕事に就きたいと思っているので営業職を希望しているから。	B	1	3	5	淡々と同じ過程の作業を繰り返すというイメージが僕の中では大きく、他に比べて仕事を通じ、やりがいを感じられないと思うからです。
B	1	4	4	単純作業が苦手なのでそれを続けるのは自分に合わないかと思うため	B	1	3	5	なにかを作ることに興味がないから。開発など
B	1	4	5	何時間も同じ作業してそうなのでそう思わないと思いました	B	1	3	5	他にしたいことがあるから。
B	1	4	4	発展や、変化がないので嫌です	B	1	3	5	物を作りよりもしたいことがあるから。
B	1	4	5	自分の性格に合わないと思ったから	B	1	3	4	製造業よりもグローバルに物と物を繋ぐシステムや流通、人と人の繋がりを築く仕事に携わりたい。
B	3	4	4	父が働いていて、いつも大変そうだと思っていたから	B	1	3	4	悩みましたが、そう思わないです。なぜなら、続かないと思うからです。好きではない職業はいずれ辞めてしまうし、やる気が出なくなるからです。
B	1	4	5	大変そうで覚える事が多そうだから	B	1	3	4	体力がないと辛そうだから。
B	1	4	5	正直製造業は高校生でもできると思っているのもっとすごい仕事を将来したい目標があるため	B	1	3	5	体力的に厳しそうであるから。工場などで機械的な作業ができないから。デスクワークがしたいから。
B	3	4	5	やりたいことがほかにあるから	B	3	3	5	難しそうです
B	1	4	4	流れ作業でしんどいのと給料少ないので	B	1	3	4	同じ作業ばかりのイメージが強いから
B	1	4	4	人間関係を大切にしたいから。	B	3	3	4	製造業の昇進空間が狭いと思うから、長い時間が働いたら、行けません。
B	1	4	5	工場のイメージがあり、工場が自分に合っていないと思うから	B	2	3	4	自分で新しいことに挑戦していきたいから。
B	2	4	5	技術的なスキルを持っていないため、製造業で働くことは困難だと思うから。	B	2	3	5	ずっと同じ作業で立ちっぱなしできつそうだから
B	1	4	4	製造業にあまり興味がないので働きたいとは思わない。	B	3	3	4	別の仕事もやってみたい。例えば、中国の日系企業で働きたいです。
B	1	4	5	同じ事を繰り返すのはあまり得意ではないため	B	1	3	5	あまり興味がない
B	2	4	4	機械の仕事とかが多そうなので操作が難しそうだから	B	3	3	5	私は小学生の頃から警察官になりたいと思っていて他の職業には興味がないから。

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学 年	問 2	問 3	大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学 年	問 2	問 3
B	2	3	5	就きたい仕事が決まっているから					
B	1	3	5	興味が無いから。					
B	1	2	4	毎日同じことを繰り返すというイメージがあるの僕はそれが飽きて来ると思うので選びました	B	1	2	5	私は将来家業の電気工事店を継ぎたいと考えているからです。経営者の視点も大事ですが、経営する上で施工についても学ばなければならないと思います。他業種に就職するつもりはありません。
B	1	2	5	起業するという目標があるから	B	1	2	5	高卒の人が多いイメージでこの前いとこの結婚式のために工場の人が入って常識がなくなってしまったから
B	3	2	4	物を作ったりする仕事はとても大事だと思うけど、自分には合っていないし他に興味のある分野があるから	B	1	2	4	同じ作業をするのがいやだから
B	1	2	5	中小の方がいいから	B	1	2	4	肉体労働を強いられるから
B	1	2	4	自分の中で同じものをずっと作るイメージで、そういった仕事よりとんとんいろいろなことをする仕事をしたがりたいから	B	2	2	4	図工が苦手なので組み立てたりする作業には自分は向いていないと思ったからです。
B	1	2	4	作業の割に給料が安いから	B	1	2	5	製造業は体を動かす肉体労働だという印象。工場ですべて同じ作業をするのは耐えられない。
B	1	2	4	何かを作ることは好きだが、仕事に就くにあたっては小売店系の仕事をしたいと考えているため。	B	1	2	4	細かい作業が多そうで自分が不器用だから
B	1	2	4	自分には流れ作業が向いていないから	B	1	2	4	まだ将来のことを深く考えられていないのと漠然としているけど起業に興味があるから
B	2	2	4	機械を使うのが得意ではなく、営業に行きたいと思っているから	B	2	2	4	製造業よりも販売系の仕事をしたがりたいから。接客関連の仕事に就きたいと考えている。
B	1	2	5	なにかを作るのではなくクリエイティブな物を考えアイデアを出したい。	B	1	2	5	大変そうだし難しそうだから
B	1	2	5	生活があまり安定しなさそうですしそもそも肉体労働が苦手なので私はあまり入りたいたとは思いません	B	1	2	4	働きたい職業が既に決まっているから
B	1	2	5	自分のやりたい職業の選択肢に入っていないので、そう思わない、を選択しました。	B	1	2	4	自分のやりたい職業が公務員のため
B	1	2	5	同じ作業の繰り返しで時間が長く感じそう、流れ作業がしんどい	B	1	2	5	事務系の仕事をしたがりたいから
B	1	2	5	製造業にあまり興味がなく、仕事は安定性を求めているから。	B	1	2	5	自分のしたい仕事じゃないからです。1番は自分のしたい仕事があるのでまずはそこを目指したいです
B	2	2	5	単純作業が多そうなので、僕は単純作業が苦手だから。	B	1	2	5	将来働きたい場所があるから
					B	1	2	4	肉体労働が嫌いだから。
					B	1	2	4	消防士になりたいから
					B	1	2	4	大変そう
B	1	2	5	自分は飽き性なので同じ作業ばかりでは自分には向いていないと思う。また、給料を重視したいから給料が少ないイメージがあります	B	1	2	5	手作業が複雑そうなので自分にはできない
B	1	2	5	ものを作るのはめんどくさい	B	1	2	4	専門的な知識が必要だと思うから。
B	3	2	5	自分のタイプではないから	B	1	2	4	人間関係のわずらわしさが思っていたよりもあり、ストレスが溜まりそうだから。
B	2	2	5	同じ作業を永遠とずっとやっているイメージで、自分は精神が病みそうに向いてなさそうだから。	B	3	2	4	作業着を着た作業よりスーツを着た仕事をしたがりたいから
B	1	2	5	製造業に興味がない	B	1	2	5	将来、自分が働きたい職業ではないから。
B	1	2	5	工場で働くのは暑そうだし空気が悪いと思うから	B	1	2	4	給料が安そうと同じことをするのに飽きそうだから
B	1	2	5	自分で創造して形にしてみたいが、工場で流れ作業をしたくない。	B	1	2	5	製造業に対していい印象がないから
B	1	2	4	私は将来父親が営んでいる建設業を継がないといけないので	B	1	2	5	低賃金のイメージだから
B	1	2	4	同じことをずっとやっているイメージだから	B	1	2	4	自分に向いてないと思うから。物作りがあまり好きではないから
B	1	2	4	製造業よりも机に向かって仕事をしたい。製造業は汗もかくし安定しているとは言えないから。	B	1	2	5	私はサラリーマンになりたい。工場で働くのでなく営業マンになりたい。
					B	2	2	4	接客がしたいと思うから
					B	1	2	4	倉庫の中で作業するのは時間が経つのが遅く感じそうだから
					B	1	2	4	同じ作業を毎日しているイメージがあるから
					B	1	2	4	自分には向いていないから

大学 (A,B)	性別 (男1 女2)	学年	問 2	問3
B	1	2	5	警察官を目指しているから。また、物を作るよりも人を助ける職に就きたいと考えているから。
B	1	2	5	3k クサイ 汚い キツイと聞いたことがあるのでそうは思わないにしました。
B	1	2	5	同じことの繰り返しでつまらなさそう。
B	1	2	5	稼げないからです。
B	1	2	4	毎日同じことの繰り返しで無気力になってしまいうるので
B	1	2	5	不動産関係の仕事につきたいと考えているため。
B	1	2	4	技術はすごいと思うけれど、最近はそのままで儲かってないと思うのであまり入りたくはない
B	1	2	5	単純作業を黙々とやりつづけているだけだから、また自分は人と関わる仕事につきたいため
B	1	2	4	自分はあまり物を作ったりするのが得意ではないのであまりやりたくないと思ったから
B	2	2	4	力仕事はあまり好きではないから。
B	1	2	4	製造業はまったく同じ作業をずっとするイメージが一番強いから
B	2	2	5	わたしは高校の時にコンビニの商品を製造する工場でバイトをしていました。何時間も1人が同じポジションをこなします。退屈で人気商品などはもっと長いです。大変でした。
B	1	2	5	飽き性なので変化のある仕事がしたい
B	2	2	5	人の上に乗る仕事がしたいから
B	2	2	4	同じ工程の仕事をし続けるのが嫌だから。
B	1	2	5	経営者になりたいと思っているため
B	1	2	4	製造業にあまり興味がわからないから
B	1	2	4	体力がとてもしらそうなので私には無理かなと思いました。
B	2	2	5	物と向き合うより人と多く関わる仕事がしたいから
B	2	2	5	男社会そうだから。
B	1	2	5	もう就きたい職業が決まってるから
B	1	2	5	私は飲食店で働きたいと思っているからです
B	2	2	4	面倒くさそう
B	1	2	4	ホテル・不動産・教育関係などに就きたいため
B	1	2	5	ホテル業で働きたいから
B	1	2	5	大変そうだから
B	1	2	5	同じ作業を繰り返すのが嫌なので。
B	1	2	4	同じ作業ばかりする仕事にはつきたくない。
B	1	2	5	ものづくりに興味がなく、器用ではないから
B	1	2	5	やりたい仕事があるため